

医療費分析基礎資料

(医療費・健診結果データにもとづく分析)

令和元年度

■この「医療費分析基礎資料」は「神奈川支部医療費分析」を作成するための基礎資料である。

■この「医療費分析基礎資料」では、神奈川支部の課題の明確化に向けて、①神奈川支部と全国平均との比較だけではなく、埼玉支部・千葉支部・東京支部の3支部との比較もおこない、②男女合計による比較だけではなく、男女別による比較もおこなっている。

■神奈川支部の課題については、「神奈川支部医療費分析」にとりまとめた。

令和3年7月

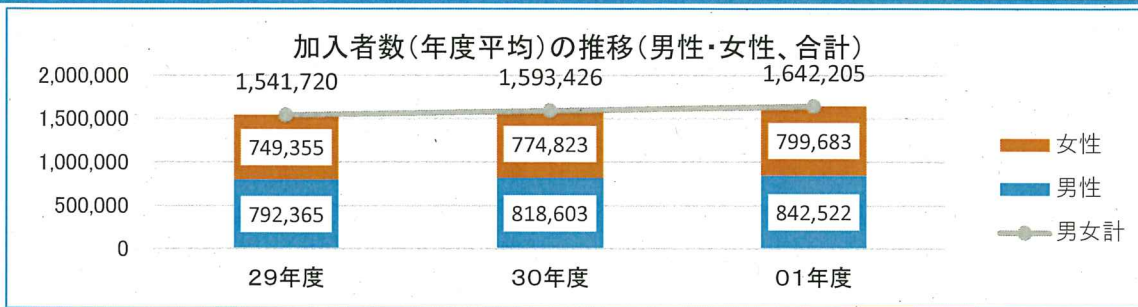


全国健康保険協会 神奈川支部
協会けんぽ

< 目 次 >

I. 神奈川支部加入者の基本情報	1
II. 加入者1人当たり医療費	3
(1) 全国比較	
(2) 29～01年度の推移	
III. 医療費の要素別分析	5
(1) 医療費のレーダーチャート	
(2) 神奈川支部と全国の要素別水準	
<補足> 入院医療費・3要素と「人口10万対病床数」の相関関係	
(3) 入院医療費の男女別・要素別分析	
(4) 入院外医療費の男女別・要素別分析	
<補足> 性別・年齢階級別の入院外受診率について	
(5) 歯科医療費(男女計)・要素別分析	
IV. 疾病分類別の医療費の状況	18
(1) 疾病分類別入院医療費	
<補足> 「⑨循環器系の疾患」と「②新生物」の細目分析	
(2) 疾病分類別入院外医療費	
<補足> 「⑩呼吸器系の疾患」、「⑭腎尿路生殖器系の疾患」等の細目分析	
V. 健診データによる分析	24
(1) 各種リスク保有率のレーダーチャート	
(2) 被保険者の各種リスク保有率	
VI. 医療費と健診データの関連	31

I. 神奈川支部加入者の基本情報

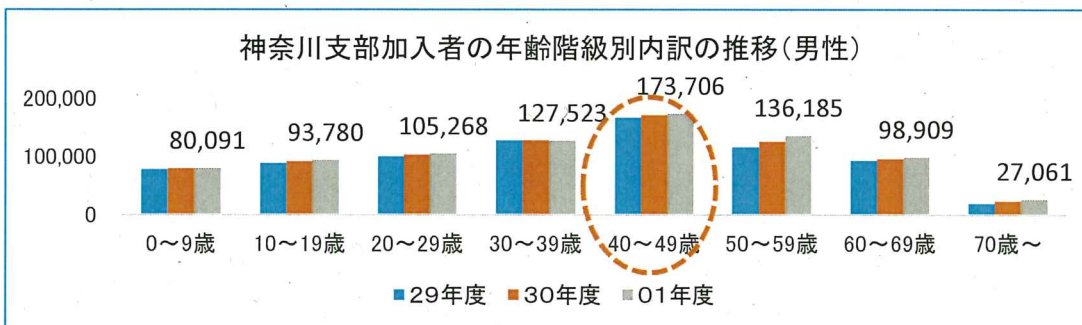


(出所)「加入者基本情報」

◆性別・年齢階級別の推移

- 男女ともに、「40～49歳」の年齢階級の加入者が最も多い。
- 男女ともに、「40～49歳」以下の各年齢階級の構成比は低下傾向にあり、加入者1人当たり医療費が高い「50～59歳」以上の加入者の構成比が年々高まっている。
- 全国と比較すると、男女ともに「40～49歳」以上の年齢階級の構成比が高い。
- 全国と比較すると、男女とも「50～59歳」の年齢階級の構成比の伸びが高い。

【男性】



神奈川支部の加入者の年齢階級構成比の推移(男性)

	29年度	30年度	01年度	2年間の増減
0～9歳	10.0%	9.7%	9.5%	-0.5%
10～19歳	11.2%	11.2%	11.1%	-0.1%
20～29歳	12.7%	12.6%	12.5%	-0.2%
30～39歳	16.1%	15.6%	15.1%	-1.0%
40～49歳	21.2%	21.0%	20.6%	-0.5%
50～59歳	14.7%	15.4%	16.2%	1.5%
60～69歳	11.7%	11.8%	11.7%	0.0%
70歳～	2.4%	2.8%	3.2%	0.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	

構成比の全国との比較(01年度)

	神奈川	全国
0～9歳	9.5%	10.4%
10～19歳	11.1%	11.8%
20～29歳	12.5%	13.1%
30～39歳	15.1%	15.4%
40～49歳	20.6%	19.2%
50～59歳	16.2%	15.0%
60～69歳	11.7%	12.3%
70歳～	3.2%	2.9%
合計	100.0%	100.0%

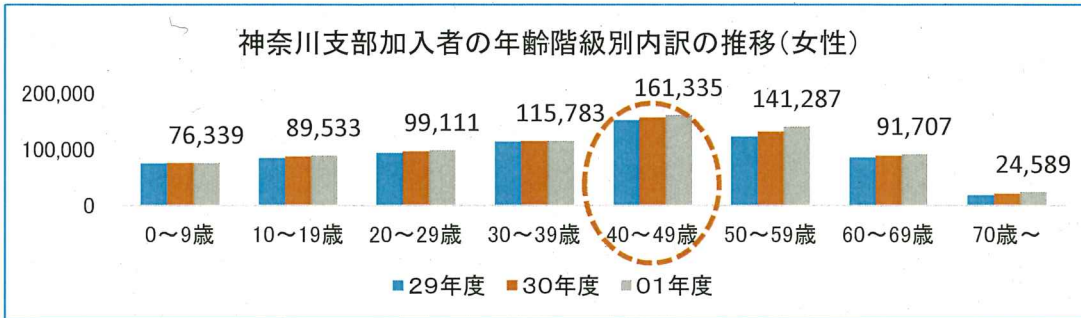
全国の加入者の年齢階級構成比の推移(男性)

	29年度	30年度	01年度	2年間の増減
0～9歳	10.9%	10.6%	10.4%	-0.5%
10～19歳	12.0%	11.9%	11.8%	-0.1%
20～29歳	13.1%	13.0%	13.1%	-0.1%
30～39歳	16.1%	15.7%	15.4%	-0.8%
40～49歳	19.1%	19.2%	19.2%	0.0%
50～59歳	14.3%	14.7%	15.0%	0.7%
60～69歳	12.3%	12.3%	12.3%	0.0%
70歳～	2.1%	2.5%	2.9%	0.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	

2年間の増減の全国との比較

	神奈川	全国
0～9歳	-0.5%	-0.5%
10～19歳	-0.1%	-0.1%
20～29歳	-0.2%	-0.1%
30～39歳	-1.0%	-0.8%
40～49歳	-0.5%	0.0%
50～59歳	1.5%	0.7%
60～69歳	0.0%	0.0%
70歳～	0.8%	0.7%
合計	0.0%	0.0%

【女性】



神奈川支部の加入者の年齢階級構成比の推移(女性)

	29年度	30年度	01年度	2年間の増減
0～9歳	10.1%	9.8%	9.5%	-0.5%
10～19歳	11.3%	11.3%	11.2%	-0.1%
20～29歳	12.6%	12.5%	12.4%	-0.2%
30～39歳	15.3%	14.9%	14.5%	-0.8%
40～49歳	20.3%	20.3%	20.2%	-0.2%
50～59歳	16.4%	17.0%	17.7%	1.2%
60～69歳	11.5%	11.5%	11.5%	0.0%
70歳～	2.5%	2.8%	3.1%	0.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	

構成比の全国との比較(01年度)

	神奈川	全国
0～9歳	9.5%	9.7%
10～19歳	11.2%	11.2%
20～29歳	12.4%	13.3%
30～39歳	14.5%	15.2%
40～49歳	20.2%	19.3%
50～59歳	17.7%	16.7%
60～69歳	11.5%	11.7%
70歳～	3.1%	2.8%
合計	100.0%	100.0%

全国の加入者の年齢階級構成比の推移(女性)

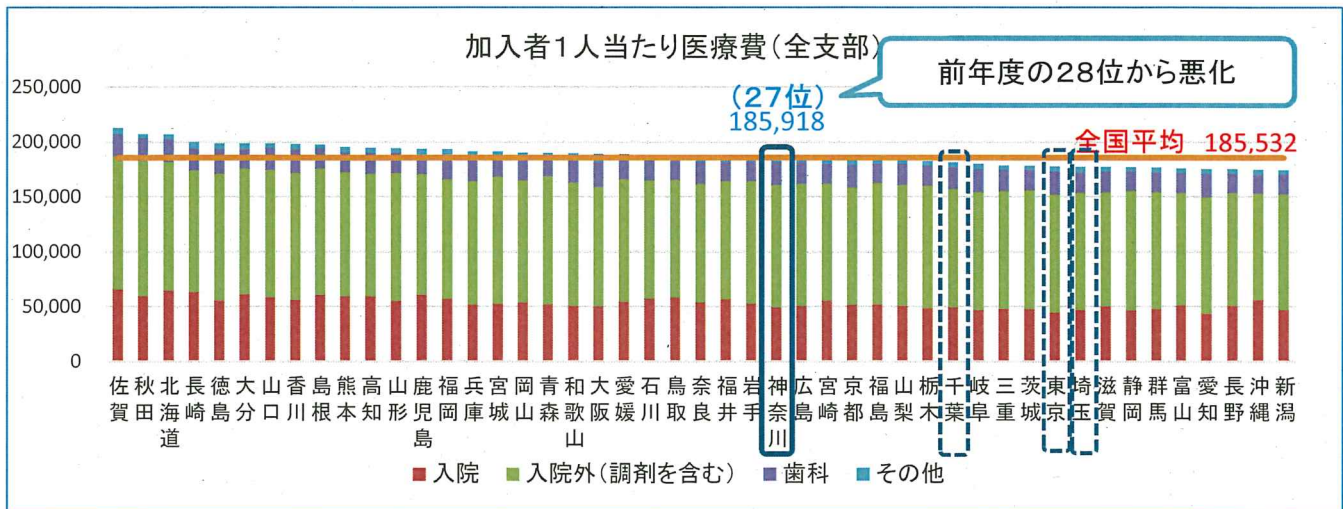
	29年度	30年度	01年度	2年間の増減
0～9歳	10.3%	10.1%	9.7%	-0.6%
10～19歳	11.5%	11.4%	11.2%	-0.3%
20～29歳	13.4%	13.3%	13.3%	-0.1%
30～39歳	15.7%	15.4%	15.2%	-0.5%
40～49歳	19.0%	19.1%	19.3%	0.3%
50～59歳	16.0%	16.3%	16.7%	0.7%
60～69歳	11.7%	11.8%	11.7%	0.0%
70歳～	2.3%	2.6%	2.8%	0.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	

2年間の増減の全国との比較

	神奈川	全国
0～9歳	-0.5%	-0.6%
10～19歳	-0.1%	-0.3%
20～29歳	-0.2%	-0.1%
30～39歳	-0.8%	-0.5%
40～49歳	-0.2%	0.3%
50～59歳	1.2%	0.7%
60～69歳	0.0%	0.0%
70歳～	0.6%	0.6%
合計	0.0%	0.0%

Ⅱ. 加入者1人当たり医療費((1)全国比較)

- 神奈川支部の令和01年度の加入者1人当たり医療費は185,918円で47支部中高い方から27位。
- 前年度は全国平均を下回っていた(▲957円)が、令和01年度は全国平均を上回った(+386円)。同様の環境下にある埼玉(39位)、千葉(34位)、東京(38位)と比べると約4~8千円高い。
- 医療費の内訳では、「入院」(37位)は全国平均を下回っているが、「入院外」(17位)・「歯科」(11位)は全国平均を上回っている。

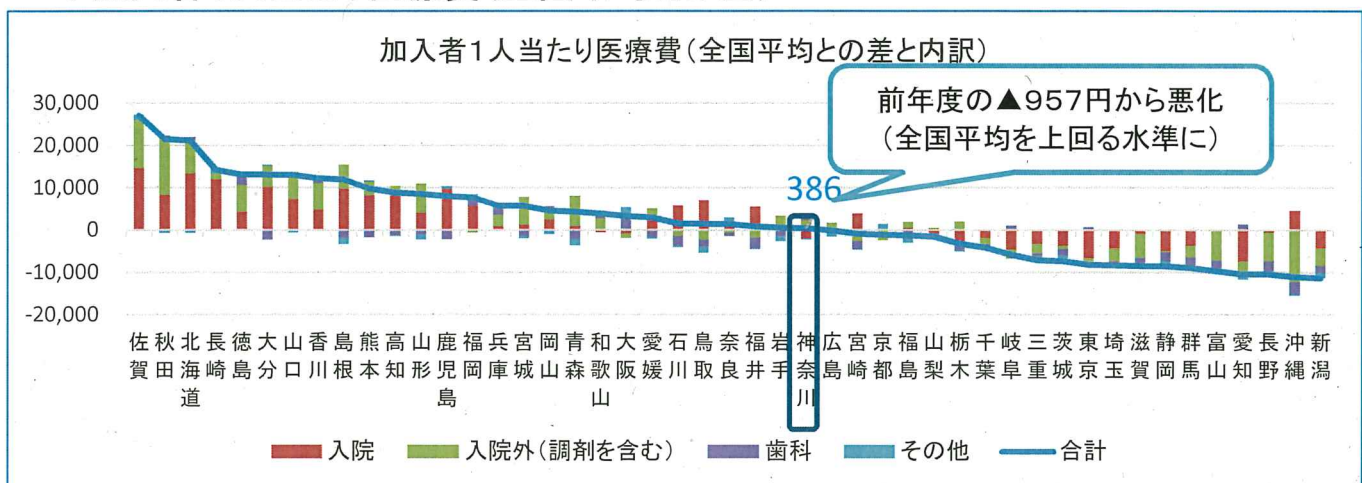


	1人当たり医療費計	入院	入院外(調剤含む)	歯科	その他
全国	185,532	51,036	109,450	20,136	4,911
埼玉	177,219	46,755	106,319	19,244	4,901
千葉	181,356	49,078	108,032	19,775	4,471
東京	177,350	44,384	107,302	20,755	4,909
神奈川 (全国順位)	185,918 27位	48,944 37位	111,653 17位	20,667 11位	4,654 20位

神奈川の入院外医療費・
歯科医療費は相対的に
高い

(注)全国順位は47支部中で金額の大きい順

◆加入者1人当たり医療費(全国平均との差)



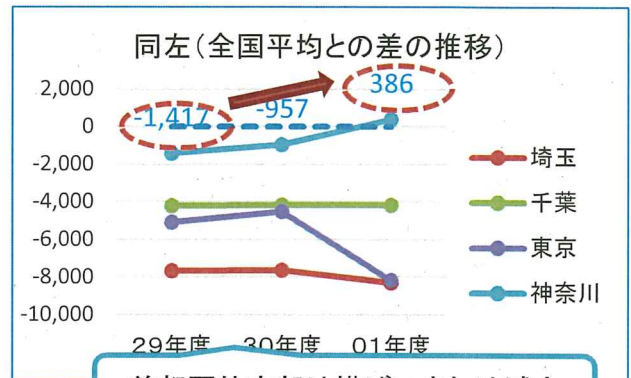
【全国平均との差】	1人当たり医療費計	入院	入院外(調剤含む)	歯科	その他
埼玉	-8,314	-4,281	-3,131	-892	-10
千葉	-4,176	-1,957	-1,418	-360	-440
東京	-8,182	-6,652	-2,147	619	-2
神奈川	386	-2,091	2,203	531	-257

神奈川の医療費が高い
主因は入院外医療費が
高いこと

Ⅱ. 加入者1人当たり医療費((2)29年度～01年度の推移)

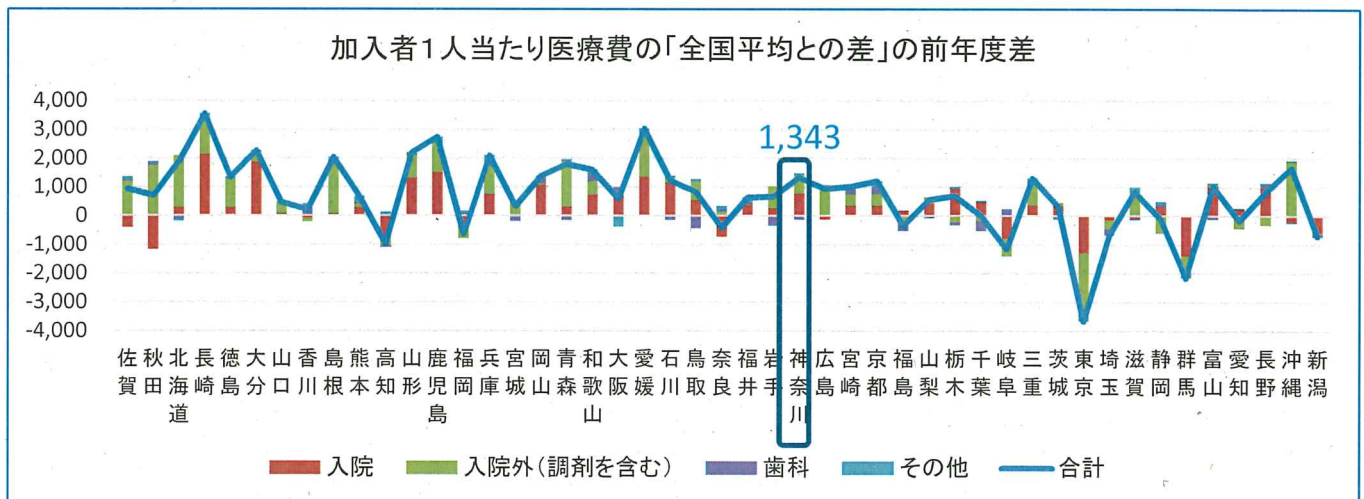
■ 神奈川支部の加入者1人当たり医療費は、全国平均を上回ることとなった(平成29年度▲1,417円→令和01年度+386円)。首都圏他支部の「全国平均との差」は横ばいまたは減少。

■ 神奈川支部の平成30～令和01年度の加入者1人当たり医療費(全国平均との差)は1,343円悪化。内訳を見ると、「入院」(+767円)・「入院外」(+663円)が大幅に悪化している。



首都圏他支部は横ばいまたは減少

◆ 加入者1人当たり医療費の「全国平均との差」の前年度差(増減内訳)



	1人当たり医療費計	入院	入院外(調剤含む)	歯科	その他
埼玉	-660	-143	-308	-218	10
千葉	5	462	-165	-360	68
東京	-3,653	-1,283	-1,963	-207	-201
神奈川	1,343	767	663	-133	47

神奈川の加入者1人当たり医療費の「全国平均との差」は+1,343円悪化。主因は入院(+767円)および入院外(+663円)

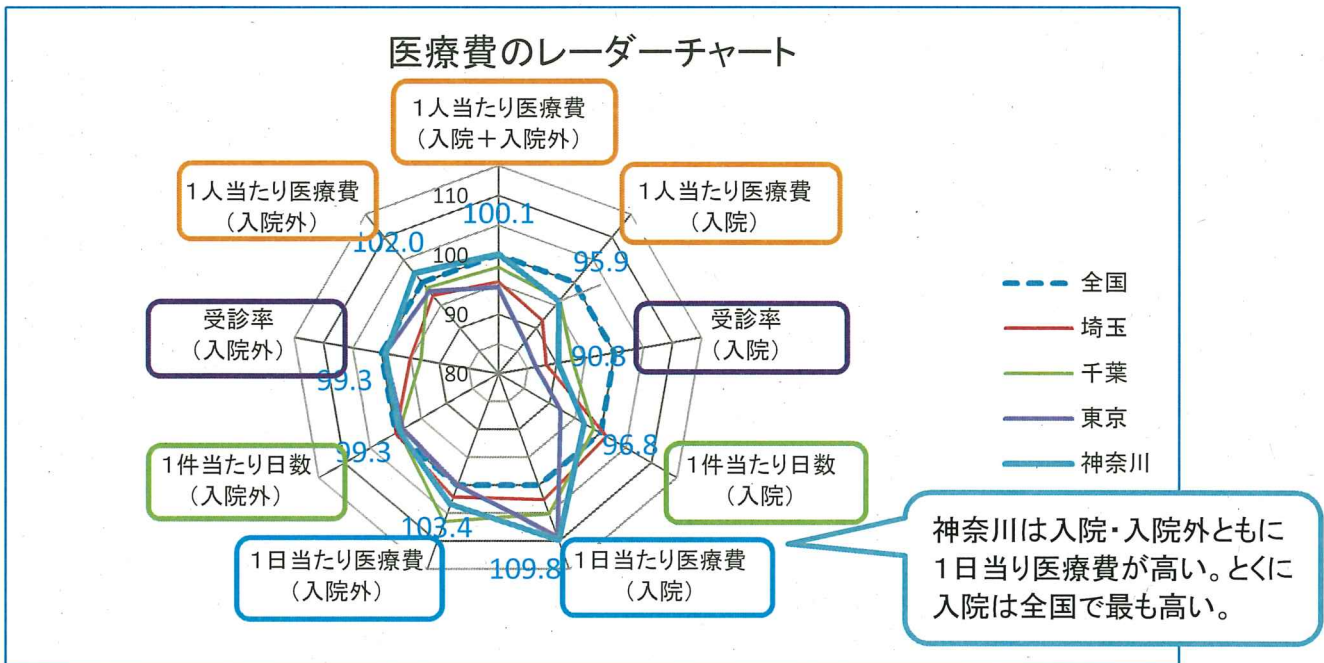
Ⅲ. 医療費の要素別分析((1)医療費のレーダーチャート)

■神奈川支部の加入者1人当たり医療費を「受診率」・「1件当たり日数」・「1日当たり医療費」(3要素＝下記参照)に分解し、レーダーチャートで表した。

■「入院」については、「1日当たり医療費」は47支部の中でもっとも高い(全国平均比109.8)が、「受診率」(同90.3)・「1件当たり日数」(同96.8)が全国平均を下回っているため、1人当たり医療費は全国平均を下回っている(同95.9)。

■一方、「入院外」については、「受診率」(同99.3)・「1件当たり日数」(同99.3)は全国平均並みであるが、「1日当たり医療費」が47支部中9番目に高い(同103.4)ため、1人当たり医療費は全国平均を上回っている(同102.0)。

$$\begin{array}{c}
 \text{1人当たり医療費} \\
 \hline
 \text{加入者数}
 \end{array}
 =
 \begin{array}{c}
 \text{受診率} \\
 \hline
 \text{加入者数}
 \end{array}
 \times
 \begin{array}{c}
 \text{1件当たり日数} \\
 \hline
 \text{レセプト件数}
 \end{array}
 \times
 \begin{array}{c}
 \text{1日当たり医療費} \\
 \hline
 \text{診療実日数}
 \end{array}$$



【1人当たり医療費】

全傷病	1人当たり医療費(円/人)			順位	
	神奈川	全国	比率	今年度	前年度
入院	48,944	51,036	95.9	37	38
入院外	111,653	109,450	102.0	17	20
入院+入院外	160,597	160,485	100.1	29	30

(3要素①)受診率

全傷病	受診率(件/千人)			順位	
	神奈川	全国	比率	今年度	前年度
入院	88.1	97.6	90.3	43	43
入院外	6218.1	6259.2	99.3	33	31

神奈川の1日当り医療費は入院は全国平均比95.9、入院外は全国平均比102.0。合計(入院+入院外)は全国平均比100.1。

(3要素②)1件当たり日数

全傷病	1件当たり日数(日/件)			順位	
	神奈川	全国	比率	今年度	前年度
入院	9.31	9.62	96.8	41	44
入院外	1.40	1.41	99.3	30	31

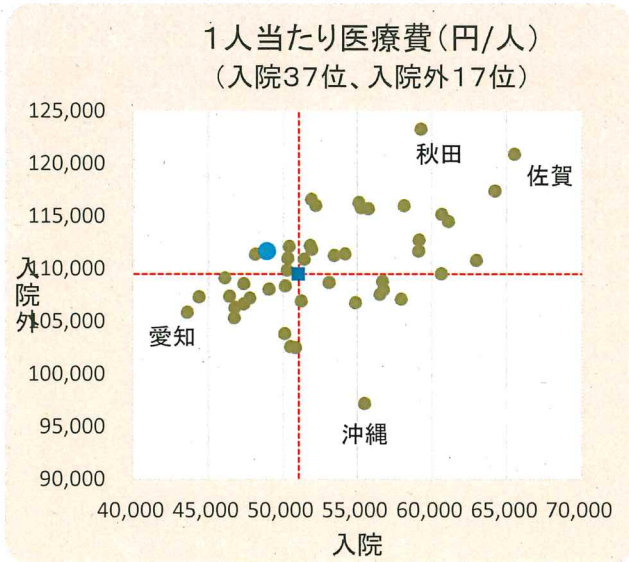
(3要素③)1日当たり医療費

全傷病	1日当たり医療費(円/日)			順位	
	神奈川	全国	比率	今年度	前年度
入院	59703.4	54381.9	109.8	1	1
入院外	12851.4	12427.1	103.4	9	11

(注)順位は47支部中で値の高い順(ワースト順位)

Ⅲ. 医療費の要素別分析((2)神奈川支部と全国の要素別水準)

- 加入者1人当たり医療費について、医療費とその3要素ごとに、入院と入院外の相関を見たもの。
- 神奈川支部は、入院の「1日当たり医療費」が突出(全国最高)。

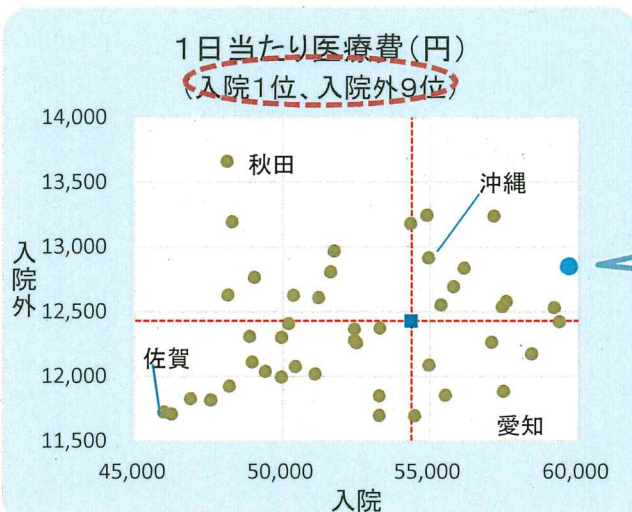
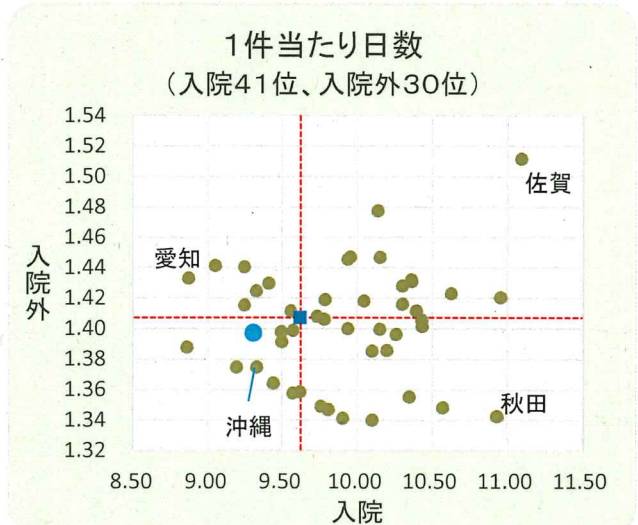
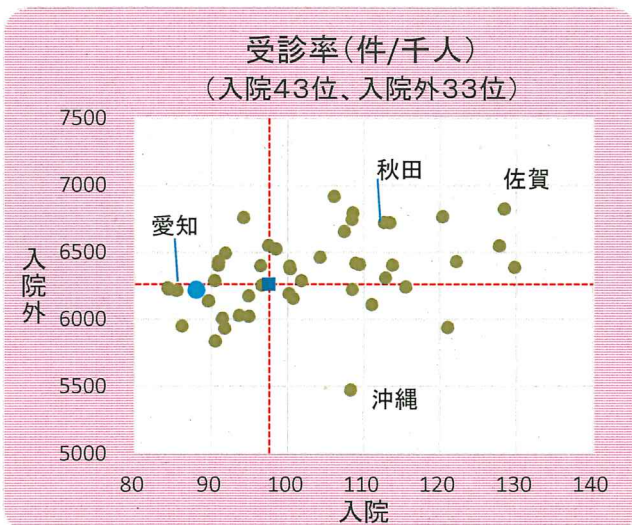


順位は47支部中で値の高い順

- : 神奈川支部
- : 全国平均

以下の支部は支部名を表示

- ・佐賀: 1人当たり入院医療費が最も高い
- ・愛知: 1人当たり入院医療費が最も低い
- ・秋田: 1人当たり入院外医療費が最も高い
- ・沖縄: 1人当たり入院外医療費が最も低い

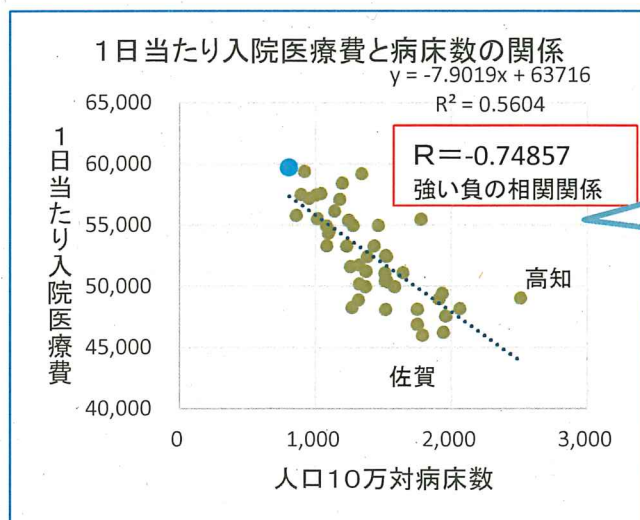
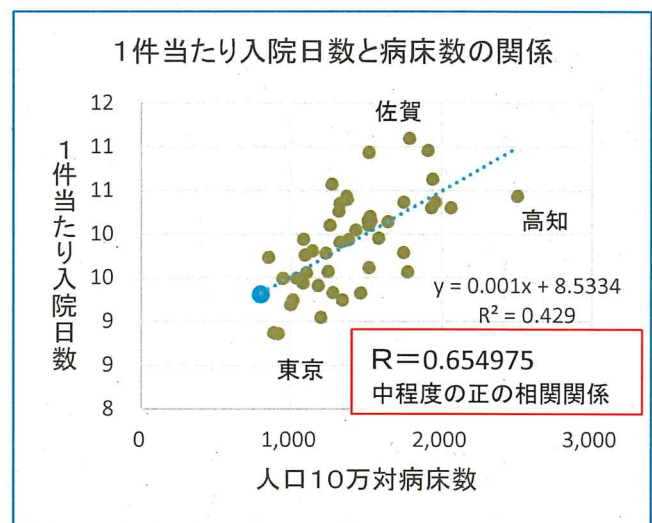
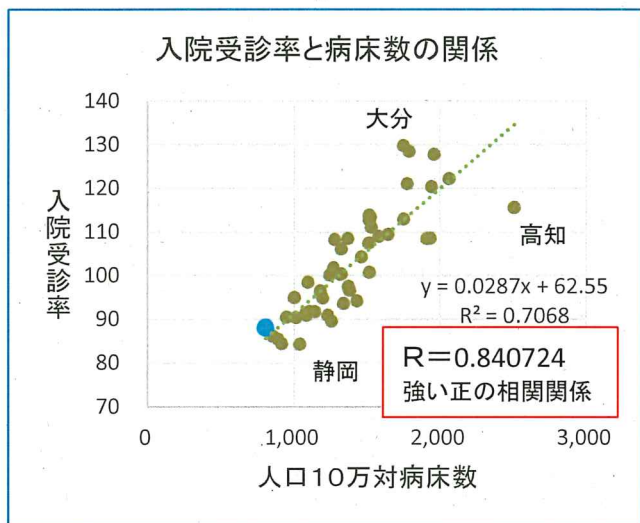
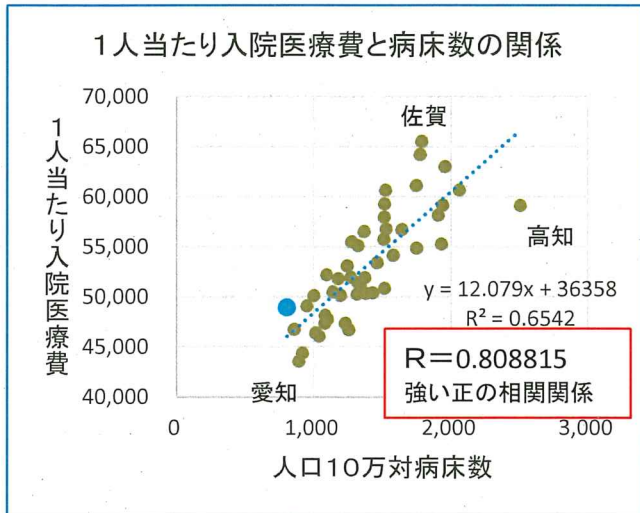


神奈川の1日当り医療費は入院・入院外とも全国平均より高い。

Ⅲ. 医療費の要素別分析((2)神奈川支部と全国の要素別水準)

<補足>入院医療費・3要素と「人口10万対病床数」の相関関係

■以下では、人口10万対病床数と、1人当たり入院医療費・3要素の相関関係を見た。
 ■人口10万対病床数と「1人当たり医療費」・「入院受診率」・「1件当たり入院日数」には正の相関関係が見られる。一方、人口10万対病床数と「1日当たり入院費」には負の相関関係が見られる。神奈川県の人
 口10万対病床数は47都道府県で最少で、神奈川支部の「1日当たり入院費」は47支部中最も高い。



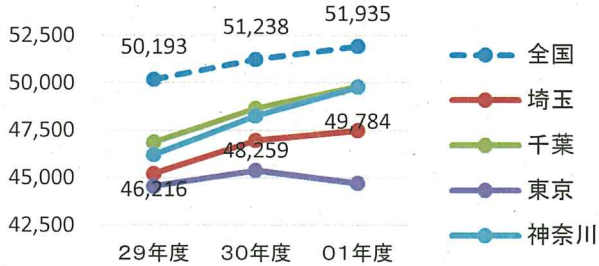
1日当たり入院医療費と人口10万対病床数には強い負の相関関係が認められる。
 神奈川県の人
 口10万対病床数は全国
 で最少。神奈川支部の1日当り入院医療
 費は47支部で最も高い。

Ⅲ. 医療費の要素別分析((3)入院医療費の男女別・要素別分析)

①1人当たり入院医療費の推移

■神奈川支部の加入者一人当たり入院医療費は全国を下回って推移しているが、この2年間の伸びは全国を上回っており、全国との差が縮小(29年度3,977円→01年度2,151円)している。
 ■男女別で見ると、この2年間の増加額は男性5,211円に対し、女性は1,966円と男性の入院医療費の増加が際立っている。

1人当たり入院医療費(男女計)

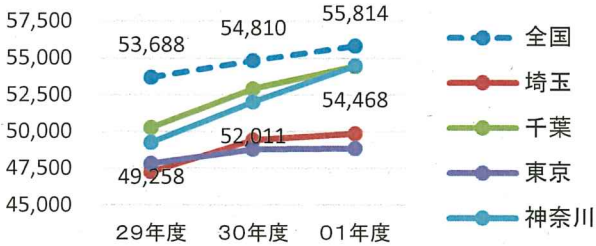


	(a) 29年度	(b) 30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	50,193	51,238	51,935	1,742
埼玉	45,229	46,963	47,487	2,258
千葉	46,877	48,654	49,810	2,933
東京	44,570	45,385	44,710	140
神奈川	46,216	48,259	49,784	3,568

2年間の伸びは全国を大幅に上回っている。

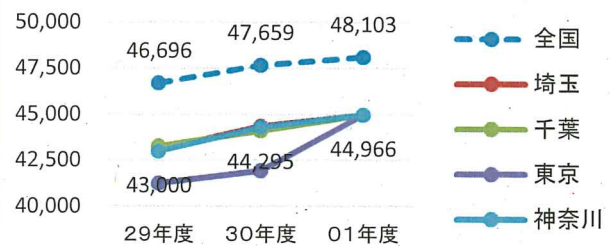
・1人当たり入院医療費の推移(男性)

1人当たり入院医療費(男性)



・1人当たり入院医療費の推移(女性)

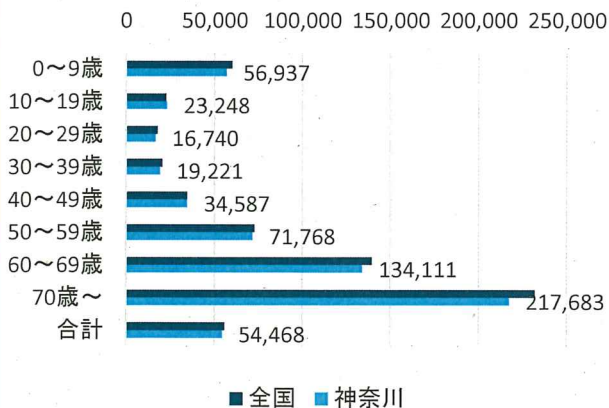
1人当たり入院医療費(女性)



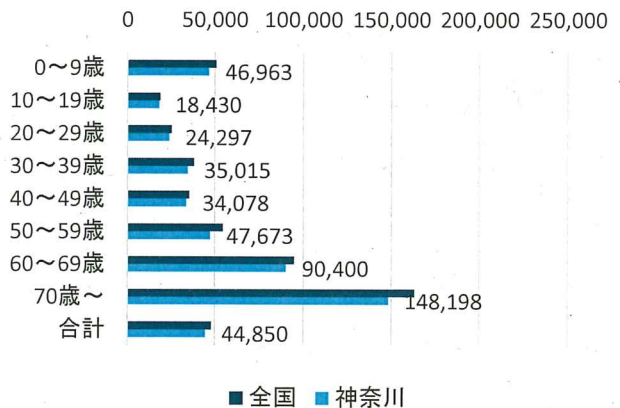
	(a) 29年度	(b) 30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	53,688	54,810	55,814	2,125
埼玉	47,259	49,422	49,854	2,595
千葉	50,269	52,909	54,430	4,161
東京	47,827	48,789	48,852	1,026
神奈川	49,258	52,011	54,468	5,211

	(a) 29年度	(b) 30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	46,696	47,659	48,103	1,406
埼玉	43,063	44,336	44,966	1,903
千葉	43,263	44,102	44,966	1,702
東京	41,253	41,924	44,966	3,713
神奈川	43,000	44,295	44,966	1,966

年齢階級別1人当たり入院医療費(男性)



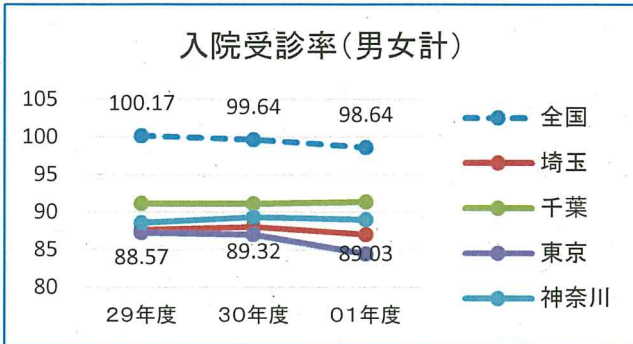
年齢階級別1人当たり入院医療費(女性)



Ⅲ. 医療費の要素別分析((3)入院医療費の男女別・要素別分析)

②入院受診率(件/千人)の推移

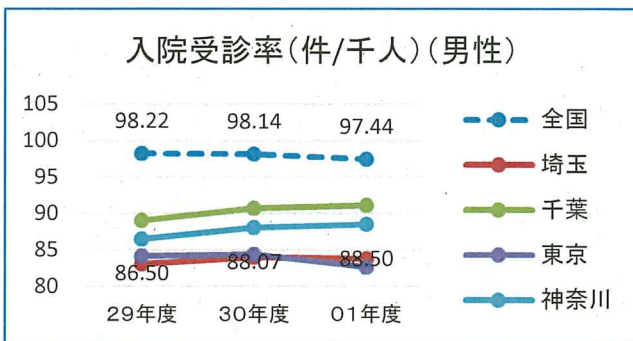
■ 神奈川支部の加入者の入院受診率は全国を大きく下回って推移しているが、この2年間の伸びは全国を大きく上回っており、全国との差は縮小している。
 ■ 男女別でみると、2年間の入院受診率の上昇幅は男性+2.00に対して女性は▲1.18。男女ともに全国は下降している中で、神奈川(および千葉)の男性の入院受診率の逆行(上昇)が目立つ。



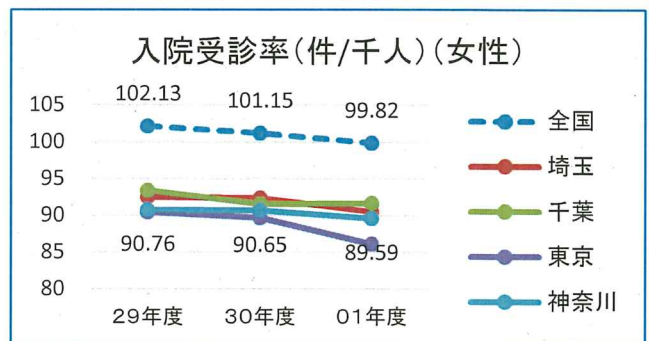
	(a) 29年度	(b) 30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	100.17	99.64	98.64	-1.54
埼玉	87.61	88.01	87.02	-0.59
千葉	91.13	91.11	91.35	0.21
東京	87.26	87.00	84.44	-2.82
神奈川	88.57	89.32	89.03	0.46

2年間の伸びは全国を大幅に上回っている。

・入院受診率(件/千人)の推移(男性)



・入院受診率(件/千人)の推移(女性)



	(a) 29年度	(b) 30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	98.22	98.14	97.44	-0.78
埼玉	83.06	83.98	83.79	0.73
千葉	89.02	90.72	91.11	2.08
東京	84.15	84.38	82.64	-1.50
神奈川	86.50	88.07	88.50	2.00

	(a) 29年度	(b) 30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	102.13	101.15	99.82	-2.32
埼玉	92.47	92.31	90.46	-2.01
千葉	93.38	91.52	91.60	-1.78
東京	90.43	89.67	86.09	-4.34
神奈川	90.76	90.65	89.59	-1.18

年齢階級別受診率(件/千人)(男性)



年齢階級別受診率(件/千人)(女性)

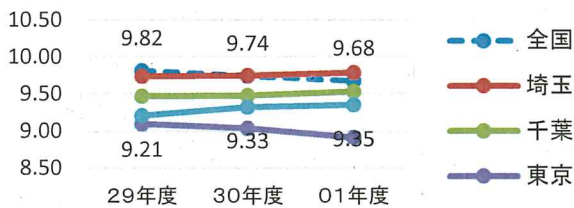


Ⅲ. 医療費の要素別分析((3)入院医療費の男女別・要素別分析)

③1件当たり入院日数(日/件)の推移

■ 神奈川支部の1件当たり入院日数は全国を下回って推移しているが、この2年間で全国が減少しているのに対して神奈川は増加。、全国との差は縮小している。

1件当たり入院日数(日/件)(男女計)

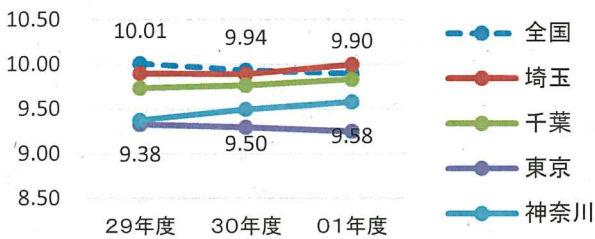


	(a) 29年度	(b) 30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	9.82	9.74	9.68	-0.14
埼玉	9.74	9.75	9.79	0.05
千葉	9.47	9.48	9.53	0.06
東京	9.10	9.04	8.91	-0.19
神奈川	9.21	9.33	9.35	0.14

全国は減少、神奈川は増加。差が縮小。

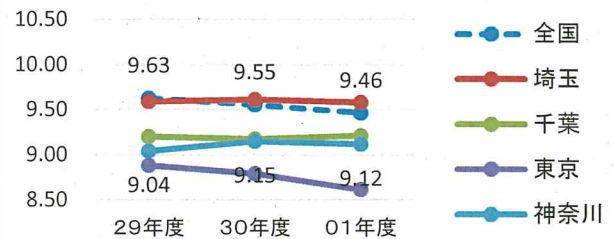
・1件当たり入院日数(日/件)の推移(男性)

1件当たり入院日数(日/件)(男性)



・1件当たり入院日数(日/件)の推移(女性)

1件当たり入院日数(日/件)(女性)



	(a) 29年度	(b) 30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	10.01	9.94	9.90	-0.12
埼玉	9.90	9.89	10.00	0.10
千葉	9.74	9.77	9.83	0.10
東京	9.33	9.30	9.25	-0.08
神奈川	9.38	9.50	9.58	0.20

	(a) 29年度	(b) 30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	9.63	9.55	9.46	-0.16
埼玉	9.59	9.61	9.58	-0.01
千葉	9.20	9.17	9.21	0.01
東京	8.88	8.79	8.61	-0.27
神奈川	9.04	9.15	9.12	0.07

1件当たり入院日数(日/件)(男性)



1件当たり入院日数(日/件)(女性)

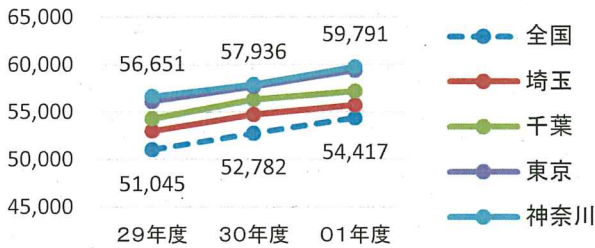


Ⅲ. 医療費の要素別分析((3)入院医療費の男女別・要素別分析)

④1日当たり入院医療費(円/日)の推移

■ 神奈川支部の1日当たり入院医療費(男女計)は全国1位(男性1位、女性3位)。この2年間の伸び(男女計)は全国を下回っており、全国との差は縮小している。
 ■ 男女別で見ると、この2年間の1日当たり入院医療費の増加額は男性の方が高い(男性3517円、女性2529円)。全国順位は男性は高いほうの2位から1位へ、女性は高いほうの1位から3位へと遷移。

1日当たり入院費(円/日)(男女計)



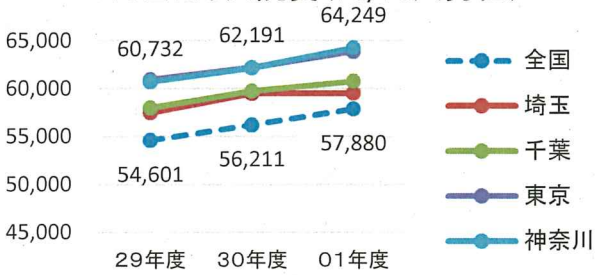
	(a) 29年度	30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	51,045	52,782	54,417	3,371
埼玉	52,999	54,741	55,762	2,763
千葉	54,305	56,336	57,210	2,905
東京	56,136	57,724	59,417	3,281
神奈川	56,651	57,936	59,791	3,140

入院費順位: 1位, 1位, 1位

神奈川が最も高い状況が続く。

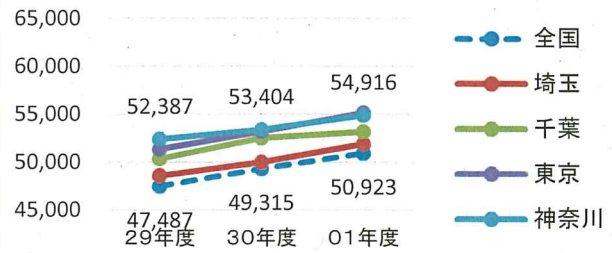
・1日当たり入院費(円/日)の推移(男性)

1日当たり入院費(円/日)(男性)



・1日当たり入院費(円/日)の推移(女性)

1日当たり入院費(円/日)(女性)



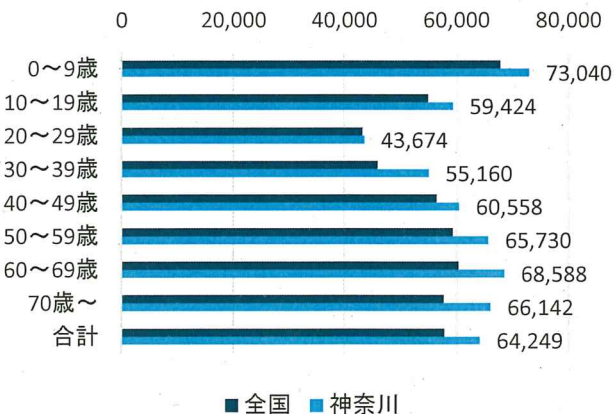
	(a) 29年度	30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	54,601	56,211	57,880	3,278
埼玉	57,480	59,507	59,520	2,040
千葉	57,998	59,715	60,757	2,760
東京	60,935	62,199	63,900	2,966
神奈川	60,732	62,191	64,249	3,517

入院費順位: 2位, 2位, 1位

	(a) 29年度	30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	47,487	49,315	50,923	3,436
埼玉	48,565	49,973	51,893	3,329
千葉	50,338	52,521	53,167	2,829
東京	51,361	53,195	55,159	3,798
神奈川	52,387	53,404	54,916	2,529

入院費順位: 1位, 1位, 3位

1日当たり入院費(円/日)(男性)



1日当たり入院費(円/日)(女性)



Ⅲ. 医療費の要素別分析((4)入院外医療費の男女別・要素別分析)

①1人当たり入院外医療費の推移

■ 神奈川支部の加入者一人当たり入院外医療費は全国を約2000円上回って推移している。この2年間の伸び(男女計)は全国を上回っており、全国との差が拡大している。

■ 男女別に1人当たり入院外医療費をみると、男性は全国を下回っているが、女性は全国を上回っている。2年間の伸びは、男性が全国並みであるのに対し、女性は全国を上回っている。

1人当たり入院外医療費(男女計)

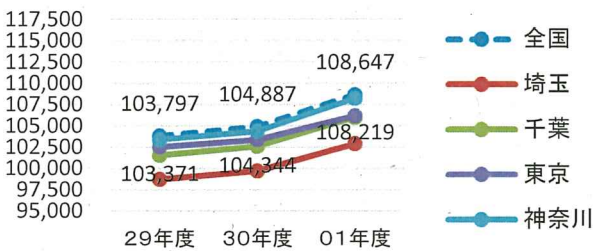


	(a) 29年度	30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	105,244	106,148	109,328	4,084
埼玉	102,699	103,414	106,256	3,557
千葉	104,374	104,916	108,011	3,637
東京	104,259	104,747	105,952	1,693
神奈川	107,008	107,753	111,558	4,551

全国は減少、神奈川は増加。差が縮小。

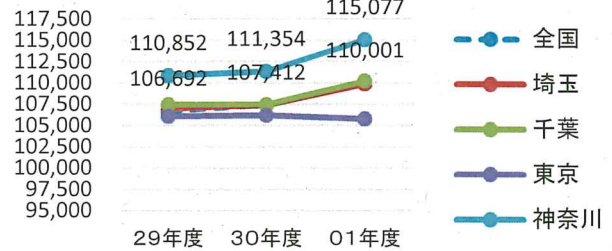
・1人当たり入院外医療費の推移(男性)

1人当たり入院外医療費(男性)



・1人当たり入院外医療費の推移(女性)

1人当たり入院外医療費(女性)



	(a) 29年度	(b) 30年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	103,797	104,887	4,850
埼玉	98,692	99,675	4,166
千葉	101,509	102,562	4,455
東京	102,493	103,325	3,652
神奈川	103,371	104,344	4,847

	(a) 29年度	(b) 30年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	106,692	107,412	3,309
埼玉	106,976	107,409	2,899
千葉	107,427	107,433	2,782
東京	106,059	106,193	-283
神奈川	110,852	111,354	4,224

年齢階級別1人当たり入院外医療費(男性)



年齢階級別1人当たり入院外医療費(女性)



Ⅲ. 医療費の要素別分析((4)入院外医療費の男女別・要素別分析)

②入院外受診率(件/千人)の推移

■神奈川支部の加入者の入院外受診率を全国をわずかに下回る水準で推移している。この2年間の伸びは全国をわずかに下回っており、全国との差は拡大している。
 ■男女別で見ると、男性は全国を下回っているが、女性は全国を上回っている(詳細は、16ページを参照)。なお、この2年間の女性の伸びは全国を下回っている。

入院外受診率(男女計)



	(a) 29年度	30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	6,220.41	6,277.91	6,264.45	44.04
埼玉	5,967.02	6,005.44	5,964.40	-2.62
千葉	5,881.95	5,915.32	5,853.38	-28.57
東京	6,204.11	6,240.57	6,166.95	-37.15
神奈川	6,196.33	6,268.16	6,232.31	35.97

入院受診率(男女計)は全国並みで推移。男性は全国を下回り、女性は全国を上回る。

・入院外受診率(件/千人)の推移(男性)

入院外受診率(件/千人)(男性)



・入院外受診率(件/千人)の推移(女性)

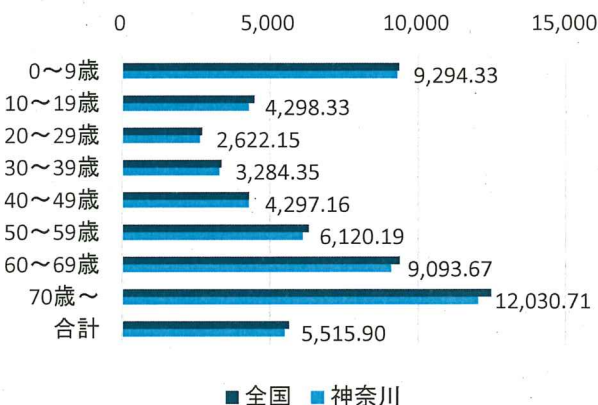
入院外受診率(件/千人)(女性)



	(a) 29年度	30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	5,607.28	5,658.05	5,652.28	45.01
埼玉	5,266.27	5,300.38	5,279.33	13.06
千葉	5,229.10	5,270.08	5,213.59	-15.51
東京	5,561.69	5,597.65	5,547.76	-13.93
神奈川	5,470.95	5,540.73	5,515.90	44.95

	(a) 29年度	30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	6,833.91	6,899.18	6,869.32	35.41
埼玉	6,714.85	6,758.75	6,693.90	-20.95
千葉	6,577.58	6,605.50	6,540.17	-37.41
東京	6,858.34	6,894.28	6,737.25	-121.09
神奈川	6,963.35	7,036.69	6,987.09	23.74

年齢階級別受診率(件/千人)(男性)



年齢階級別受診率(件/千人)(女性)

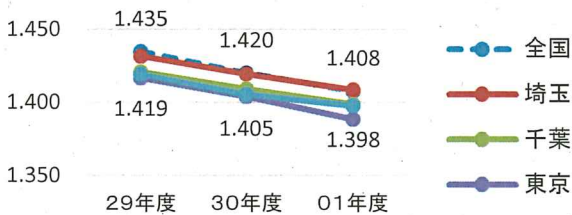


Ⅲ. 医療費の要素別分析((4)入院外医療費の男女別・要素別分析)

③1件当たり入院外日数(日/件)の推移

■ 神奈川支部の加入者の1件当たり入院外日数は、男女とも全国を下回って推移しているが、この2年間の減少幅は男女とも全国を下回っており、全国との差が縮小。
 ■ 年齢階級別で見ると、女性は「50～59歳」以上の年齢階級で全国を上回っている。

1件当たり入院外日数(日/件)(男女計)

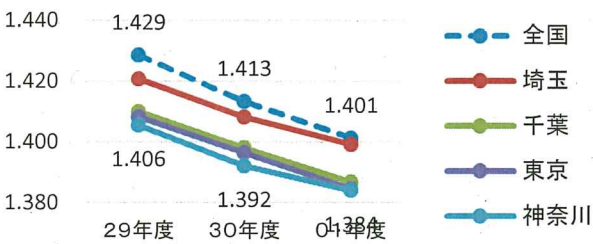


	(a) 29年度	30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	1.435	1.420	1.408	-0.027
埼玉	1.432	1.420	1.408	-0.023
千葉	1.421	1.409	1.398	-0.022
東京	1.417	1.404	1.388	-0.028
神奈川	1.419	1.405	1.398	-0.021

神奈川の減少幅は全国を下回り、差が縮小。

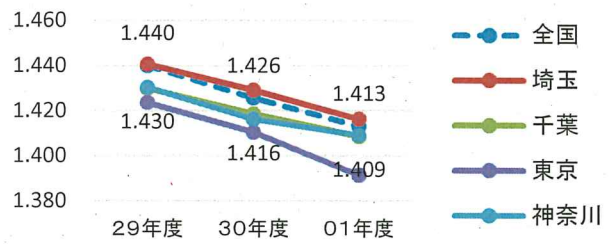
・1件当たり入院外日数(日/件)の推移(男性)

1件当たり入院外日数(日/件)(男性)



・1件当たり入院外日数(日/件)の推移(女性)

1件当たり入院外日数(日/件)(女性)



	(a) 29年度	(b) 30年度	01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	1.429	1.413	1.401	-0.027
埼玉	1.421	1.408	1.399	-0.022
千葉	1.410	1.398	1.387	-0.023
東京	1.408	1.396	1.384	-0.024
神奈川	1.406	1.392	1.384	-0.022

	(a) 29年度	30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	1.440	1.426	1.413	-0.027
埼玉	1.441	1.429	1.416	-0.024
千葉	1.430	1.419	1.409	-0.021
東京	1.424	1.410	1.391	-0.032
神奈川	1.430	1.416	1.409	-0.021

1件当たり入院外日数(日/件)(男性)

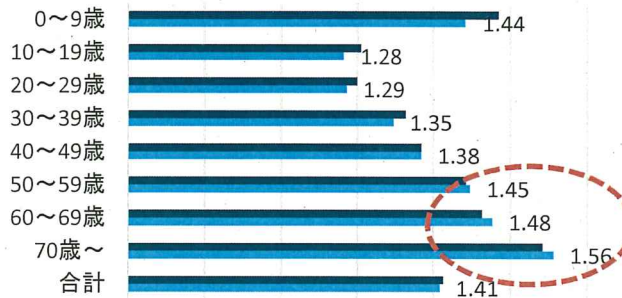
1.00 1.20 1.40 1.60 1.80



■ 全国 ■ 神奈川

1件当たり入院外日数(日/件)(女性)

1.00 1.10 1.20 1.30 1.40 1.50 1.60



■ 全国 ■ 神奈川

Ⅲ. 医療費の要素別分析((4)入院外医療費の男女別・要素別分析)

④1日当たり入院外医療費(円/日)の推移

- 神奈川支部の加入者の1日当たり入院外医療費は全国を上回る水準で推移している。この2年間の伸びは全国を上回っており、全国との差は拡大している。
- 2年間の伸びを男女別に見ると、男性は全国を下回り、女性は全国を上回っている。

1日当たり入院費(円/日)(男女計)

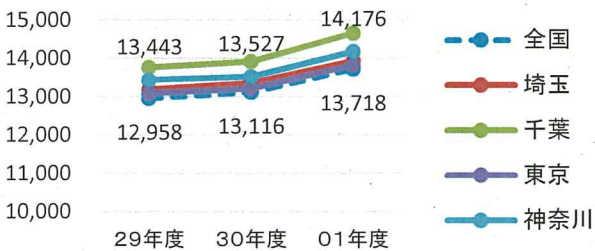


	(a) 29年度	(b) 30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	11,792	11,907	12,397	605
埼玉	12,023	12,131	12,649	626
千葉	12,489	12,587	13,195	706
東京	11,862	11,954	12,374	512
神奈川	12,169	12,232	12,807	638

神奈川の伸びは全国を上回り、差が拡大。

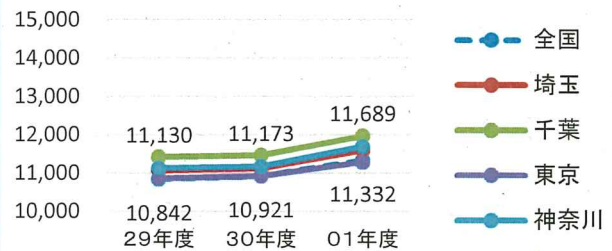
・1日当たり入院外費(円/日)の推移(男性)

1日当たり入院外費(円/日)(男性)



・1日当たり入院外費(円/日)の推移(女性)

1日当たり入院外費(円/日)(女性)



	(a) 29年度	(b) 30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	12,958	13,116	13,718	760
埼玉	13,190	13,355	13,925	735
千葉	13,768	13,921	14,657	889
東京	13,086	13,218	13,819	734
神奈川	13,443	13,527	14,176	733

	(a) 29年度	(b) 30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	10,842	10,921	11,332	490
埼玉	11,059	11,120	11,590	531
千葉	11,422	11,465	11,964	542
東京	10,863	10,921	11,284	421
神奈川	11,130	11,173	11,689	559

1日当たり入院外費(円/日)(男性)



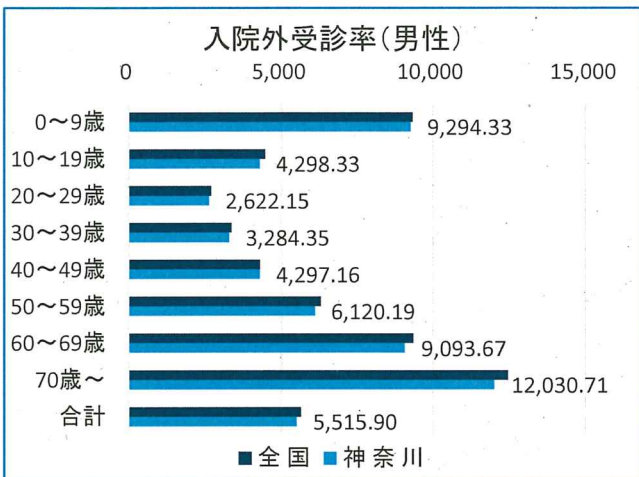
1日当たり入院外費(円/日)(女性)



Ⅲ. 医療費の要素別分析((4)入院外医療費の男女別・要素別分析)

<補足>性別・年齢階級別の入院外受診率について

- 神奈川支部の加入者の入院外受診率を男女別で見ると、男性は全国平均を下回っている(全国順位:38位)。一方、女性は全国平均を上回っており全国順位も18位と比較的高い。
- 神奈川支部の女性加入者の入院外受診率は、「10～19歳」を除く年齢階級で全国平均を上回っている。とくに加入者数をもっとも多い「40～49歳」の全国平均との差異は170円と大きい。
- 神奈川支部の女性加入者の入院外受診率は、「20～29歳」以上の各年齢階級および合計において、首都圏4支部の中でもっとも高い。

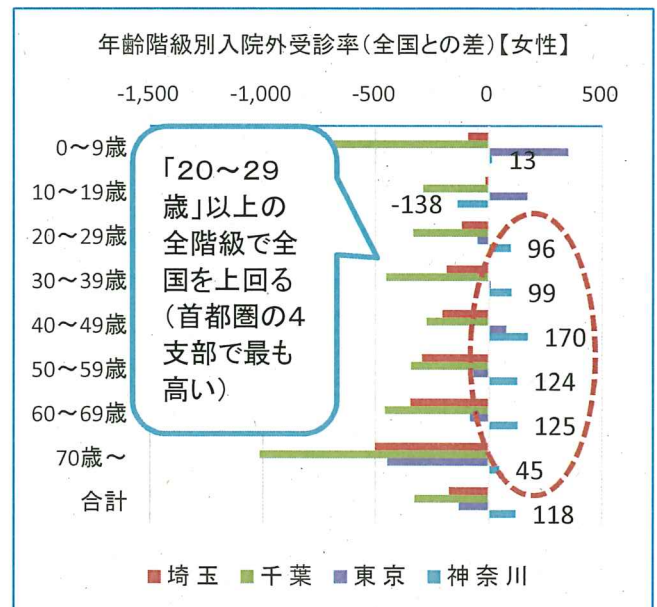
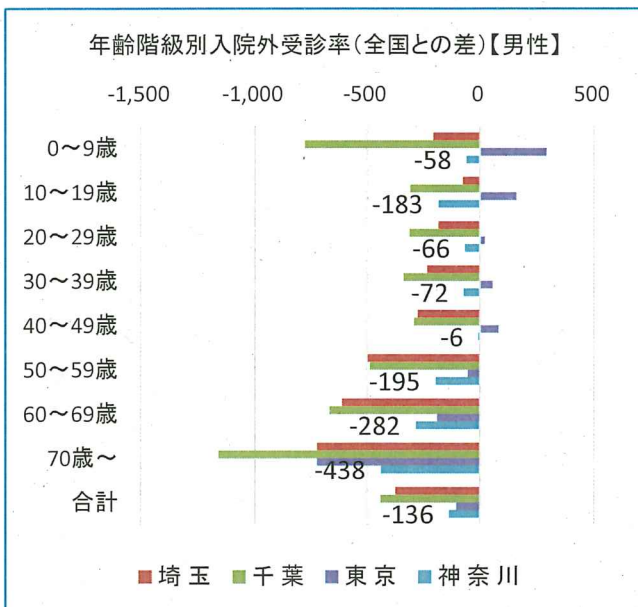


【男性】

	全国	神奈川	差異	全国順位
0～9歳	9,352.68	9,294.33	-58.35	28位
10～19歳	4,481.06	4,298.33	-182.74	36位
20～29歳	2,688.31	2,622.15	-66.16	38位
30～39歳	3,356.01	3,284.35	-71.66	36位
40～49歳	4,303.42	4,297.16	-6.26	28位
50～59歳	6,315.45	6,120.19	-195.26	37位
60～69歳	9,375.80	9,093.67	-282.13	35位
70歳～	12,468.70	12,030.71	-437.99	37位
合計	5,652.28	5,515.90	-136.38	38位

【女性】

	全国	神奈川	差異	全国順位
0～9歳	8,569.00	8,581.93	12.93	25位
10～19歳	4,506.44	4,368.29	-138.15	31位
20～29歳	4,877.49	4,973.88	96.39	19位
30～39歳	5,826.36	5,924.98	98.63	16位
40～49歳	6,064.33	6,234.81	170.48	9位
50～59歳	7,743.71	7,867.28	123.57	19位
60～69歳	9,966.12	10,091.40	125.28	19位
70歳～	12,942.05	12,987.51	45.46	24位
合計	6,869.32	6,987.09	117.77	18位

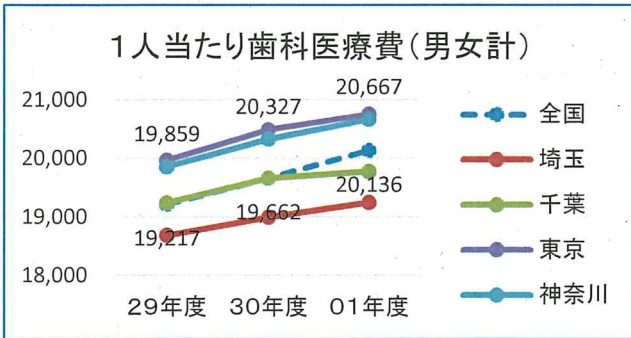


Ⅲ. 医療費の要素別分析((5) 歯科医療費(男女計)・要素別分析)

■ 神奈川支部の加入者一人当たり歯科医療費は全国平均を約600円上回って推移している。この2年間の伸び(男女計)は全国平均を下回っており、全国平均との差は縮小している。

■ 3要素分解すると、受診率は全国なみだが、1件当たり日数および1日当たり医療費は全国平均を上回っている。1日当たり医療費は、埼玉と500円超の差がある。

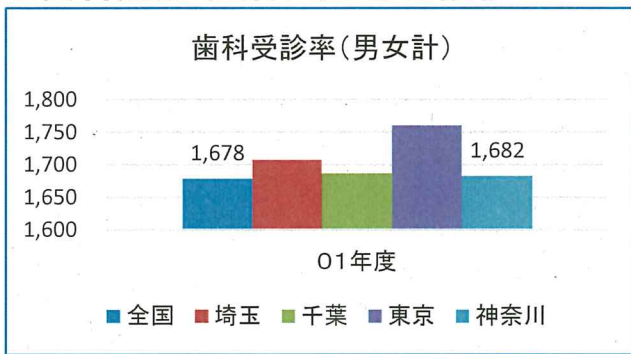
◆ 1人当たり歯科医療費の推移



	(a) 29年度	30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国	19,217	19,662	20,136	919
埼玉	18,682	18,989	19,244	562
千葉	19,239	19,662	19,775	537
東京	19,969	20,488	20,755	786
神奈川	19,859	20,327	20,667	808

神奈川の増加額は全国を下回り、差が縮小。

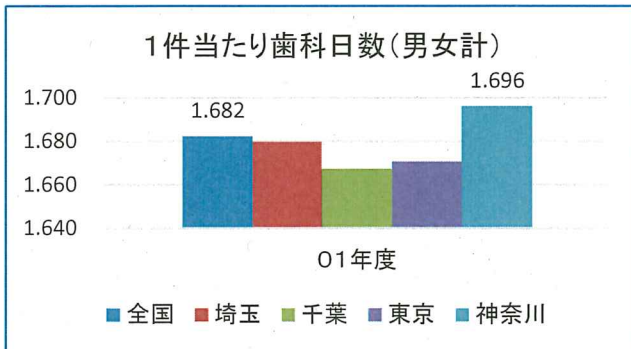
◆ 歯科受診率(件/千人)の推移



	(a) 29年度	30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国			1,678	
埼玉			1,707	
千葉			1,686	
東京			1,760	
神奈川			1,682	

歯科受診率(男女計)は全国並み。

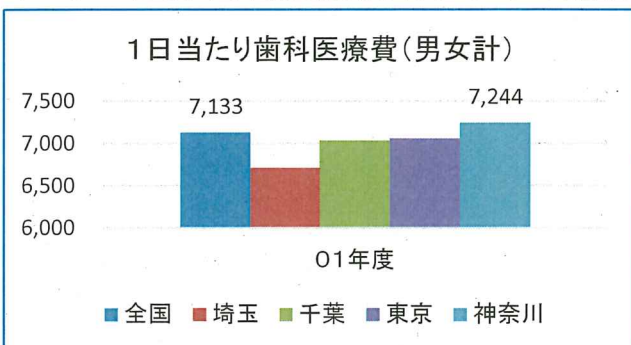
◆ 1件当たり歯科日数(日/件)の推移



	(a) 29年度	30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国			1,682	
埼玉			1,680	
千葉			1,667	
東京			1,671	
神奈川			1,696	

1件当たり歯科日数は全国をやや上回る。

◆ 1日当たり歯科医療費(円/日)の推移



	(a) 29年度	30年度	(b) 01年度	(b)-(a) 2年間増減
全国			7,133	
埼玉			6,711	
千葉			7,034	
東京			7,059	
神奈川			7,244	

神奈川の1日当たり歯科医療費は全国をやや上回る。埼玉とは500円超の差がある。

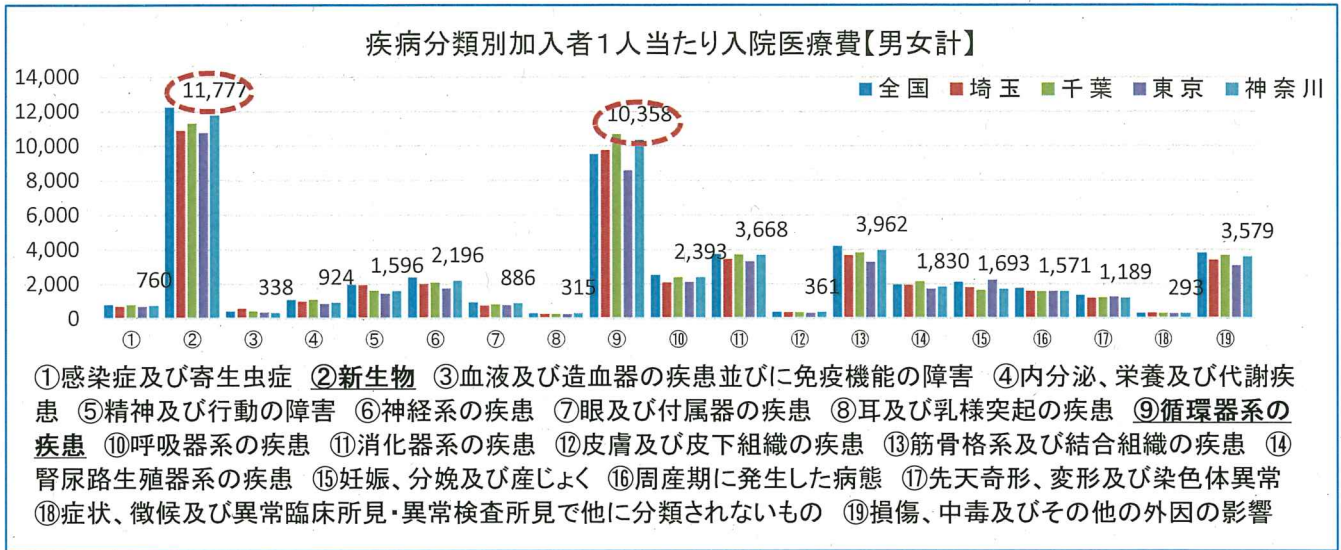
IV. 疾病分類別の医療費の状況((1)疾病分類別入院医療費)

■ 神奈川支部の加入者1人当たり入院医療費(男女計、48,944円)を疾病分類別にみると、全国平均と同様に「②新生物」・「⑨循環器系の疾患」の入院医療費が突出している。

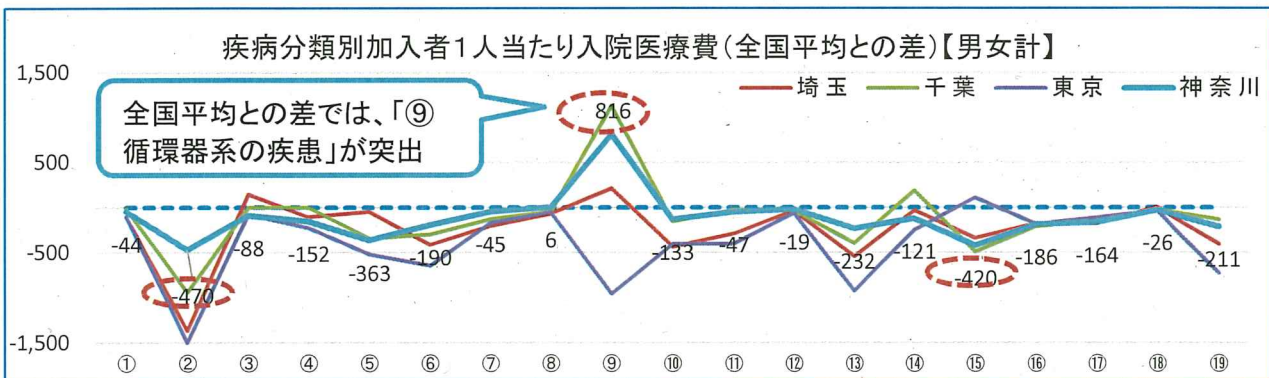
■ 疾病分類別の全国平均との差では、「⑨循環器系の疾患」(+816円)が突出。「②新生物」(▲470円)・「⑮妊娠、分娩及び産じょく」(▲420円)は全国平均を大きく下回っている。

■ 「全国平均との差」の推移を見ると、この2年間で「②新生物」の差が669円縮小(▲1,139円→▲470円)と大幅悪化。その他、「⑨循環器系の疾患」の差が316円拡大(+500円→+816円)と悪化。

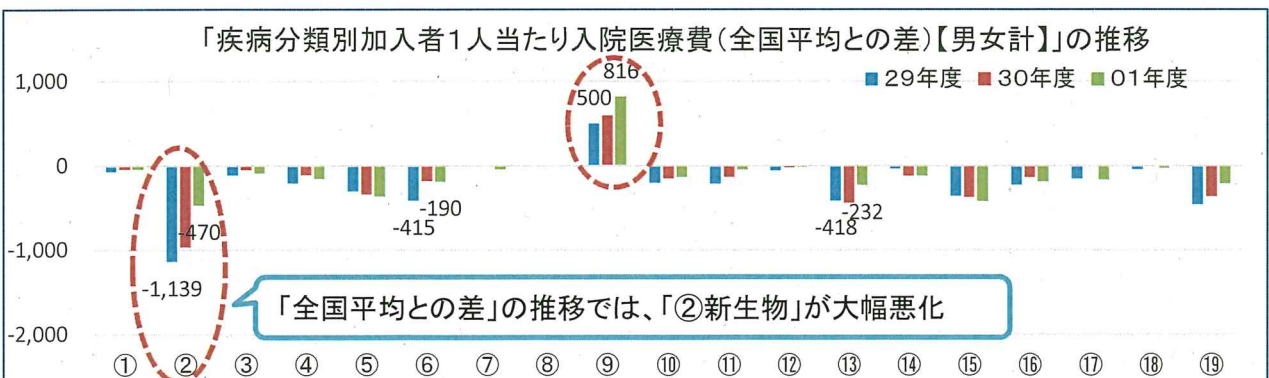
◆ 加入者1人当たり入院医療費【男女計】(全国及び首都圏支部との比較)



◆ 疾病分類別加入者1人当たり入院医療費(全国平均との差)【男女計】



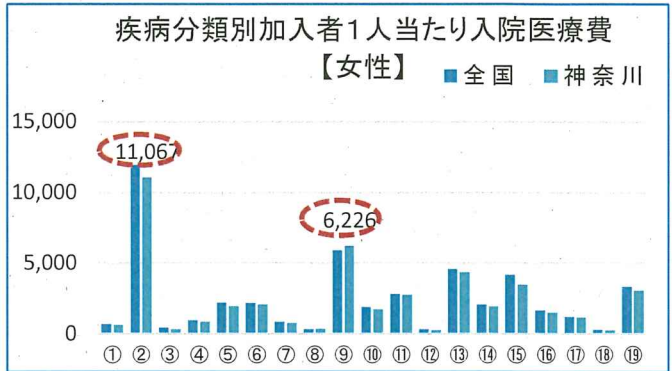
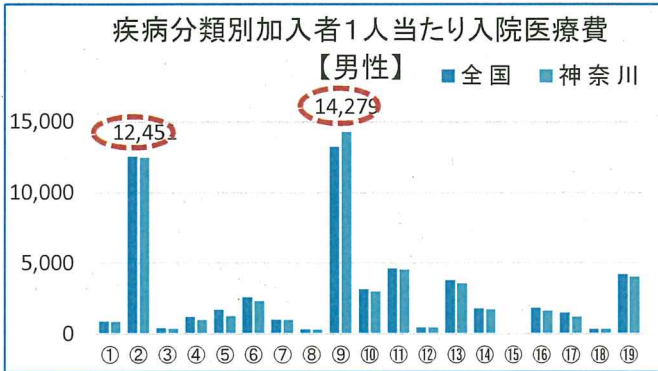
◆ 「疾病分類別加入者1人当たり入院医療費(全国平均との差)【男女計】」の推移



IV. 疾病分類別の医療費の状況((1)疾病分類別入院医療費)

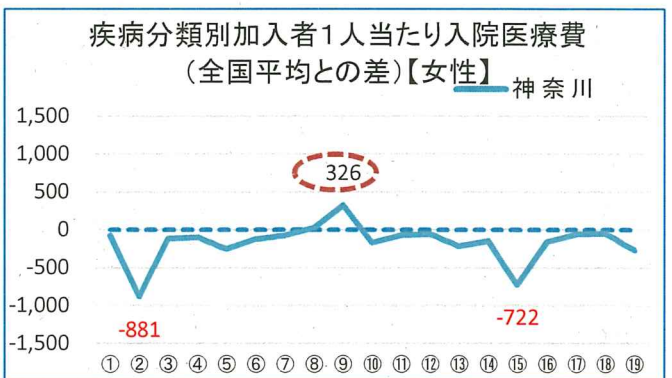
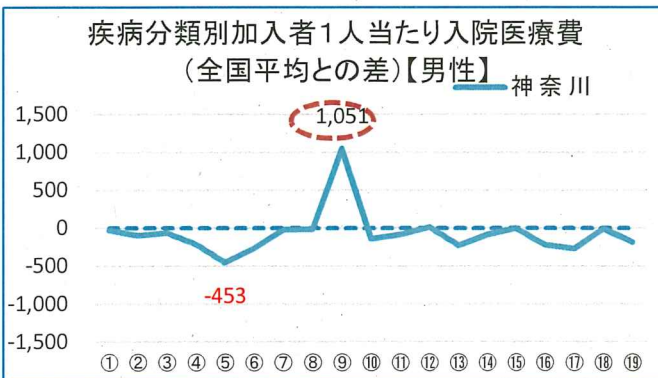
- 疾病分類別の加入者1人当たり入院医療費は、男女ともに「②新生物」・「⑨循環器系の疾患」の医療費が突出しているが、「⑨循環器系の疾患」は男性の医療費が女性の医療費を大きく上回っている。
- 疾病分類別加入者1人当たり入院医療費を全国平均と比較すると、男女ともに「⑨循環器系の疾患」が全国平均を大きく上回っている(とくに男性は+1,051円と突出)。一方、男性の「⑤精神及び行動の障害」、女性の「②新生物」・「⑮妊娠、分娩及び産じょく」は全国平均を大きく下回っている。
- 疾病分類別の加入者1人当たり入院医療費の全国平均との差を時系列で見ると、29年度から元年度にかけて、男性の「②新生物」・「⑨循環器系の疾患」の医療費が相対的に高騰。

◆加入者1人当たり入院医療費【男女別】(全国との比較)

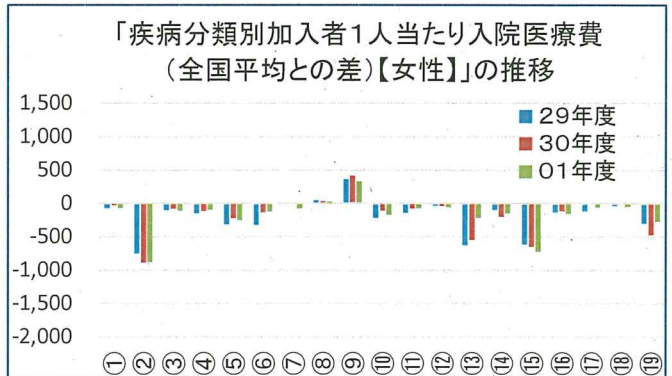
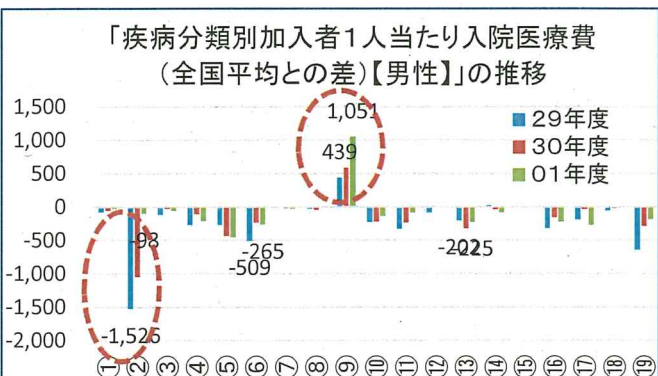


- ①感染症及び寄生虫症 ②新生物 ③血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害 ④内分泌、栄養及び代謝疾患 ⑤精神及び行動の障害 ⑥神経系の疾患 ⑦眼及び付属器の疾患 ⑧耳及び乳様突起の疾患 ⑨循環器系の疾患 ⑩呼吸器系の疾患 ⑪消化器系の疾患 ⑫皮膚及び皮下組織の疾患 ⑬筋骨格系及び結合組織の疾患 ⑭腎尿路生殖生殖器系の疾患 ⑮妊娠、分娩及び産じょく ⑯周産期に発生した病態 ⑰先天奇形、変形及び染色体異常 ⑱症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの ⑲損傷、中毒及びその他の外因の影響

◆疾病分類別加入者1人当たり入院医療費(全国平均との差)【男女別】



◆「疾病分類別加入者1人当たり入院医療費(全国平均との差)【男女別】」の推移



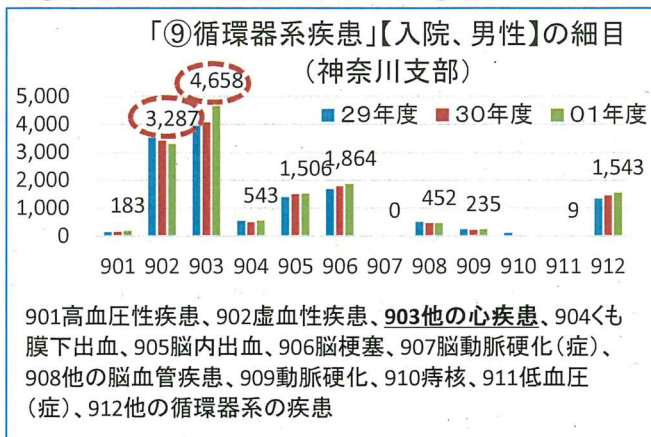
IV. 疾病分類別の医療費の状況((1)疾病分類別入院医療費)

<補足>「⑨循環器系の疾患」(男性)と「②新生物」(男性)の細目分析

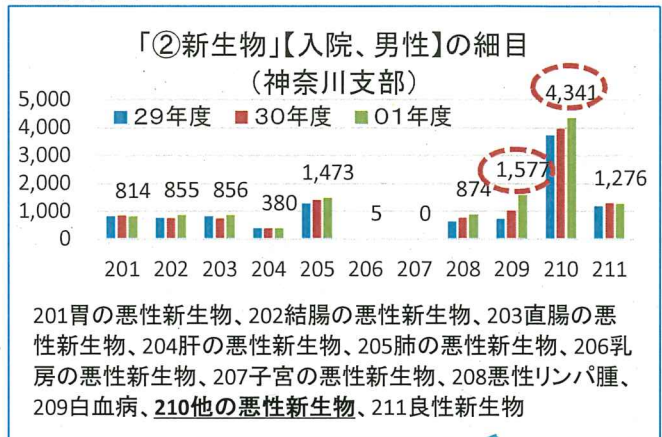
■神奈川支部の加入者1人当たり入院医療費のうち男性の「⑨循環器系の疾患」(14,279円、前頁)の内訳は、「903他の心疾患」(4,658円)、「902虚血性疾患」(3,287円)などである。また、「②新生物」(12,451円)の内訳は、「210他の悪性新生物」(4,341円)、「209白血病」(1,577円)などである。

■全国平均との差額の推移をみると、「⑨循環器系の疾患」(男性)の増加(前頁)は「903他の心疾患」(+424円→+742円)に、「②新生物」(男性)の増加(前頁)「209白血病」(▲309円→+495円)に起因。

◆「⑨循環器系疾患」(男性)および「②新生物」(男性)の医療費細目

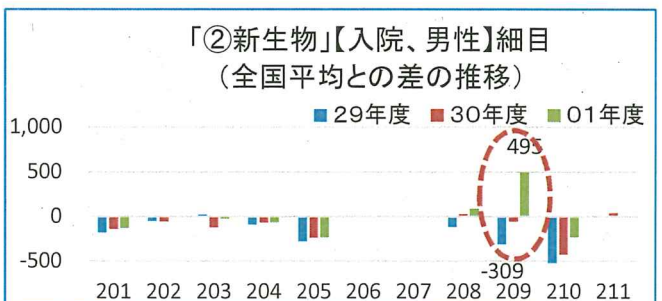
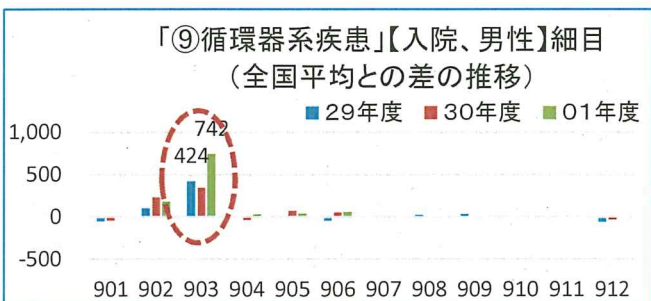


「⑨循環器系の疾患」入院医療費(男性、14,279円)の5割強を「903他の心疾患」、「902虚血性疾患」で占める



「②新生物」入院医療費(男性、12,451円)の約5割を、「211他の悪性新生物」、「209白血病」で占める

◆「⑨循環器系の疾患」(男性)および「②新生物」(男性)の医療費細目別の全国平均との差の推移

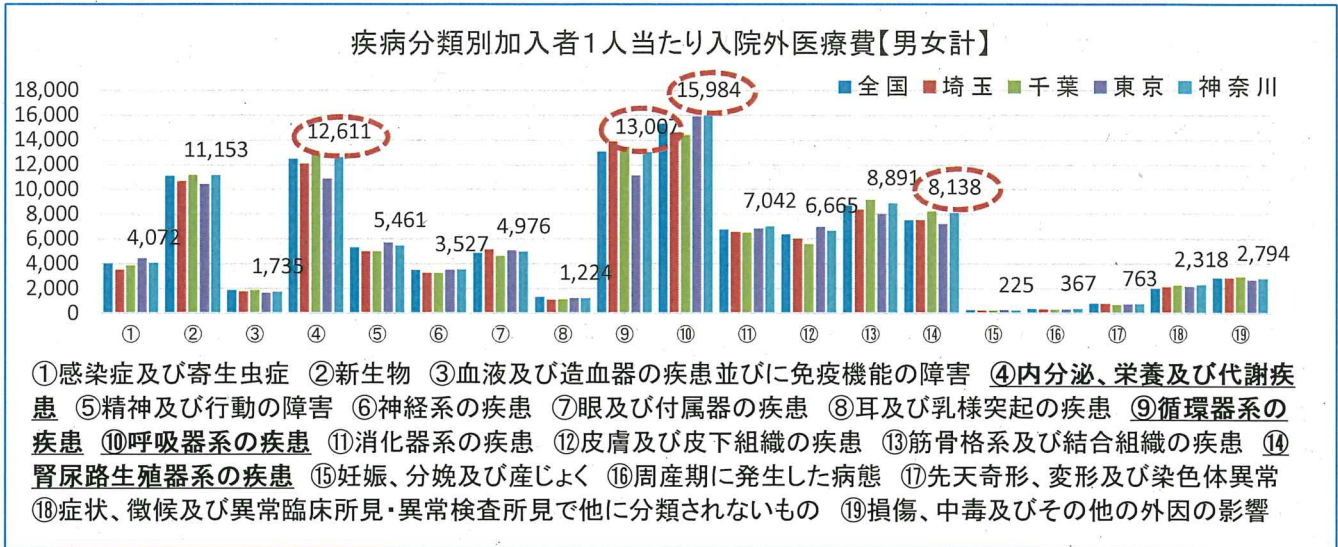


「②新生物」入院医療費(男性)の全国平均との差の縮小(▲1526円→▲98円、前頁参照)は「209白血病」(▲309円→+495円)に起因

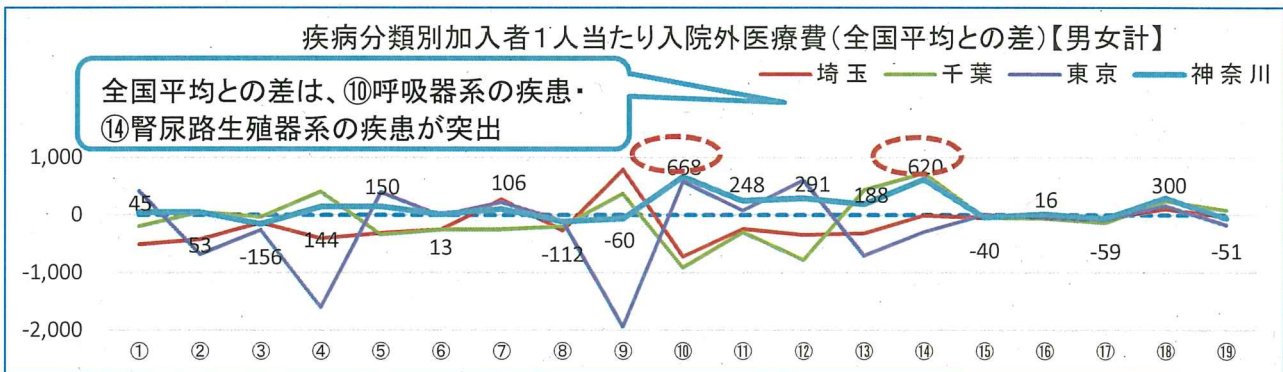
IV. 疾病分類別の医療費の状況((2)疾病分類別入院外医療費)

- 神奈川支部の加入者1人当たり入院外医療費(111,653円)を疾病分類別にみると、全国平均と同様に「呼吸器系の疾患」・「循環器系の疾患」・「内分泌、栄養及び代謝疾患」等の入院外医療費が高い。
- 全国平均との差は、「呼吸器系の疾患」(+668円)・「腎尿路生殖器系の疾患」(+620円)が突出している。
- 「全国平均との差」の推移では、とくに大きな増減は見られない。

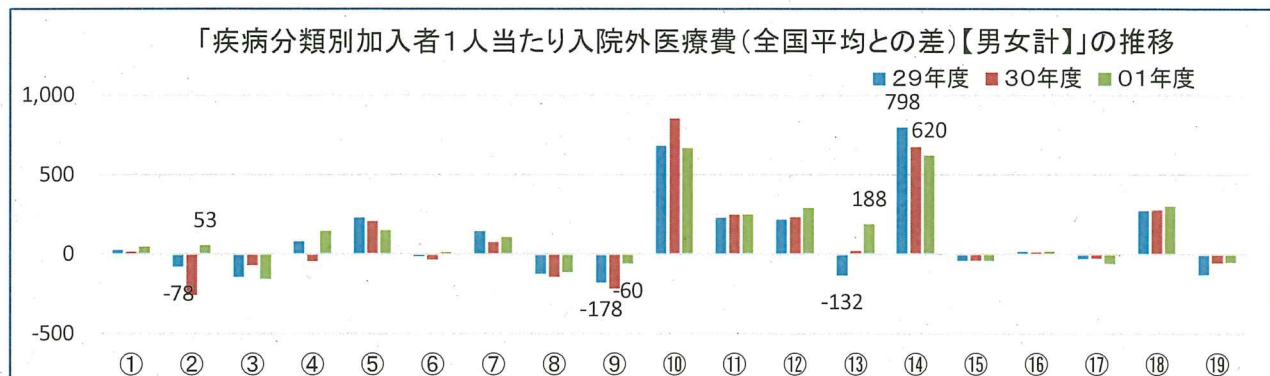
◆ 加入者1人当たり入院医療費【男女計】(全国及び首都圏支部との比較)



◆ 疾病分類別加入者1人当たり入院外医療費(全国平均との差)【男女計】



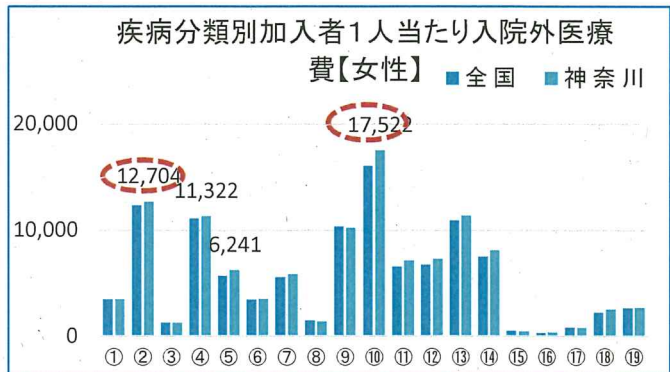
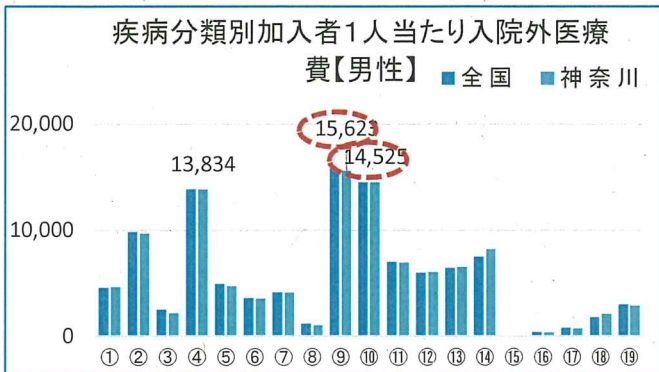
◆ 「疾病分類別加入者1人当たり入院外医療費(全国平均との差)【男女計】」の推移



IV. 疾病分類別の医療費の状況((2)疾病分類別入院外医療費)

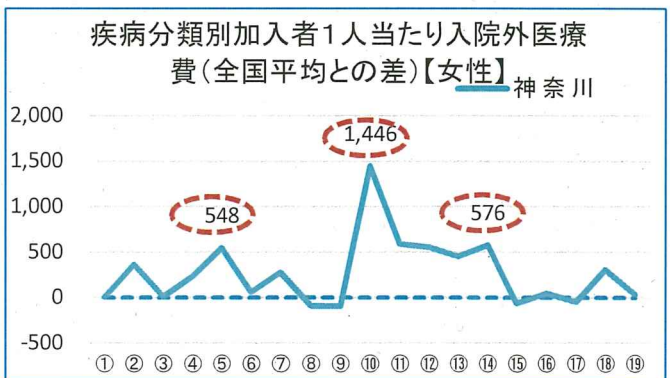
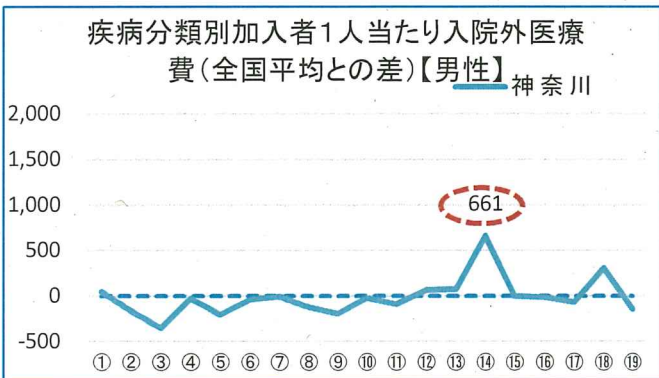
- 疾病分類別の加入者1人当たり入院外医療費は、男性は「⑨循環器系の疾患」・「⑩呼吸器系の疾患」等の医療費が、また女性は「⑩呼吸器系の疾患」・「②新生物」等の医療費が突出。
- 疾病分類別加入者1人当たり入院外医療費を全国平均と比較すると、女性の「⑩呼吸器系の疾患」が突出しているほか、男女ともに「⑭腎尿路生殖器系の疾患」が全国平均を大きく上回っている。また女性は「⑤精神及び行動の障害」が全国平均を大きく下回っている。
- 疾病分類別の加入者1人当たり入院外医療費の全国平均との差を時系列で見ると、29年度から元年度にかけては、とくに大きな変化は見られない。

◆加入者1人当たり入院外医療費【男女別】(全国との比較)

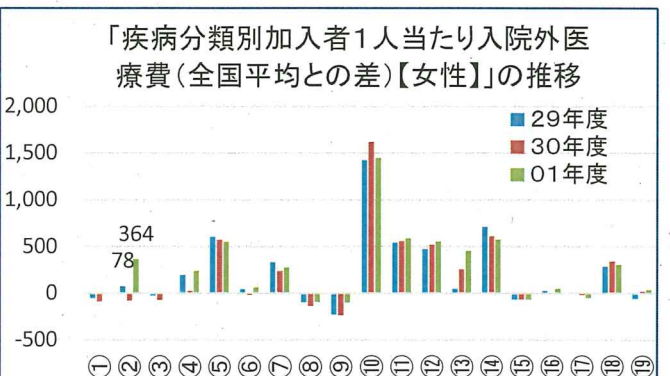
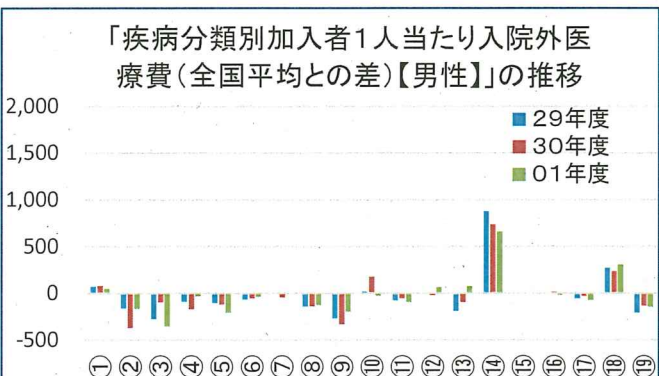


- ①感染症及び寄生虫症 ②新生物 ③血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害 ④内分泌、栄養及び代謝疾患 ⑤精神及び行動の障害 ⑥神経系の疾患 ⑦眼及び付属器の疾患 ⑧耳及び乳様突起の疾患 ⑨循環器系の疾患 ⑩呼吸器系の疾患 ⑪消化器系の疾患 ⑫皮膚及び皮下組織の疾患 ⑬筋骨格系及び結合組織の疾患 ⑭腎尿路生殖器系の疾患 ⑮妊娠、分娩及び産じょく ⑯周産期に発生した病態 ⑰先天奇形、変形及び染色体異常 ⑱症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの ⑲損傷、中毒及びその他の外因の影響

◆疾病分類別加入者1人当たり入院外医療費(全国平均との差)【男女別】



◆「疾病分類別加入者1人当たり入院外医療費(全国平均との差)【男女別】」の推移



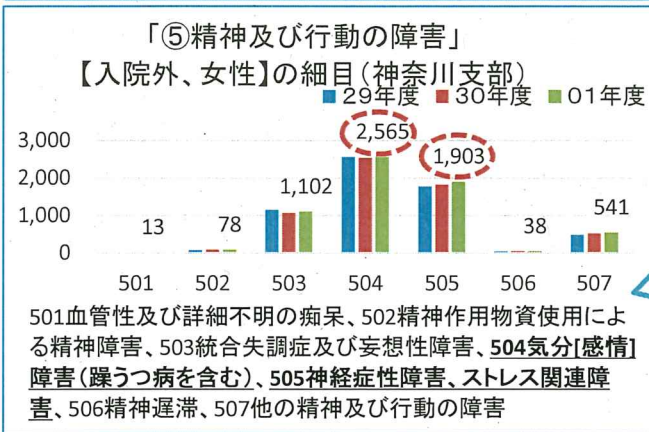
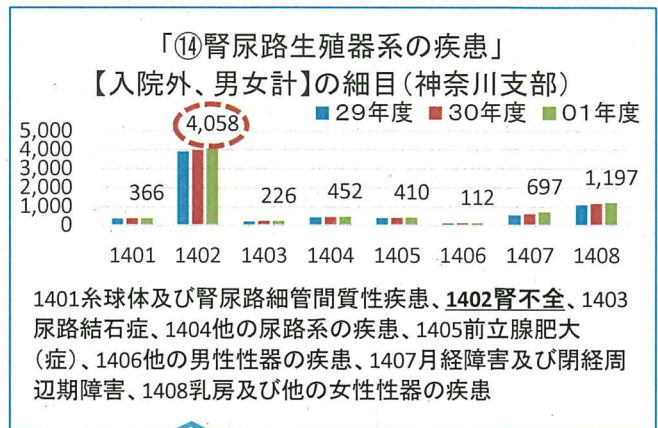
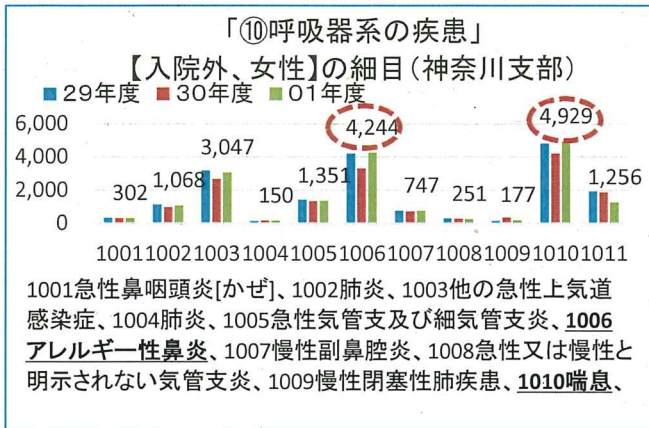
IV. 疾病分類別の医療費の状況((2)疾病分類別入院外医療費)

<補足>「⑩呼吸器系の疾患」(女性)、「⑭腎尿路生殖器系の疾患」等の細目分析

■神奈川支部の加入者1人当たり入院外医療費で、女性の「⑩呼吸器系の疾患」(17,522円、前頁)の内訳は、「1010喘息」(4,929円)、「1006アレルギー性鼻炎」(4,244円)など、男女計の「⑭腎尿路生殖器系の疾患」(8,138円、前々頁)の内訳は「1402腎不全」(4,058円)などであり全国平均との差も大きい。

■女性の「⑤精神及び行動の障害」(6,241円、前頁)の内訳は、「504気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」(2,565円)、「505神経症性障害、ストレス関連障害」(1,903円)などであり全国平均との差も大きい。

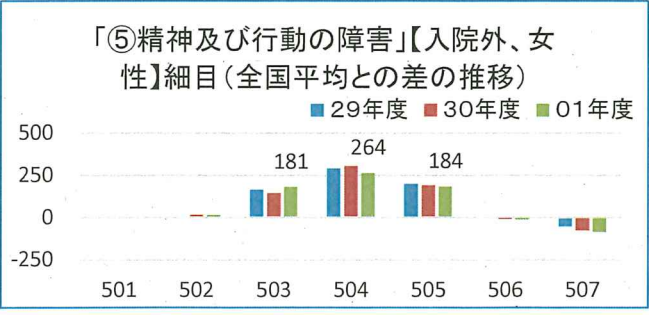
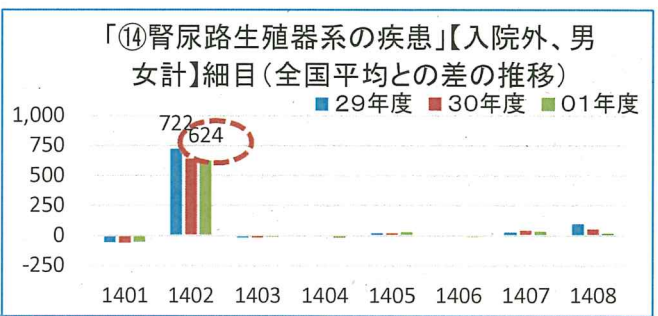
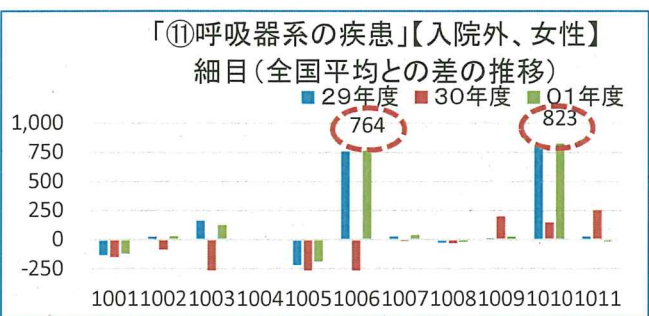
◆「⑩呼吸器系の疾患」、⑭腎尿路生殖器系の疾患」等の医療費細目



「⑭腎尿路生殖器系の疾患」入院外医療費(男女計、8,138円)の5割強が「1402腎不全」

「⑤精神及び行動の障害」入院外医療費(女性、6,241円)のうち、「504気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」・「505神経症性障害、ストレス関連障害」で約7割

◆「⑩呼吸器系疾患」、「⑭腎尿路生殖器系の疾患」等の医療費細目の全国平均との差の推移

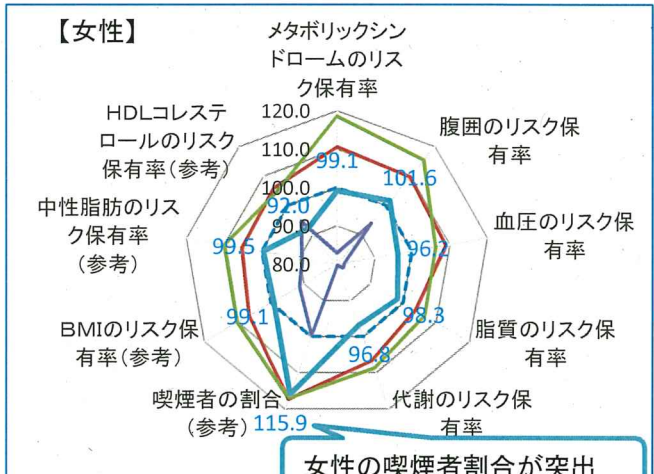
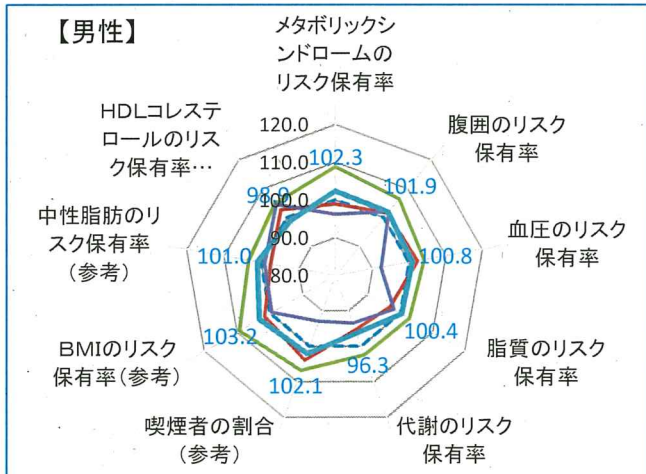
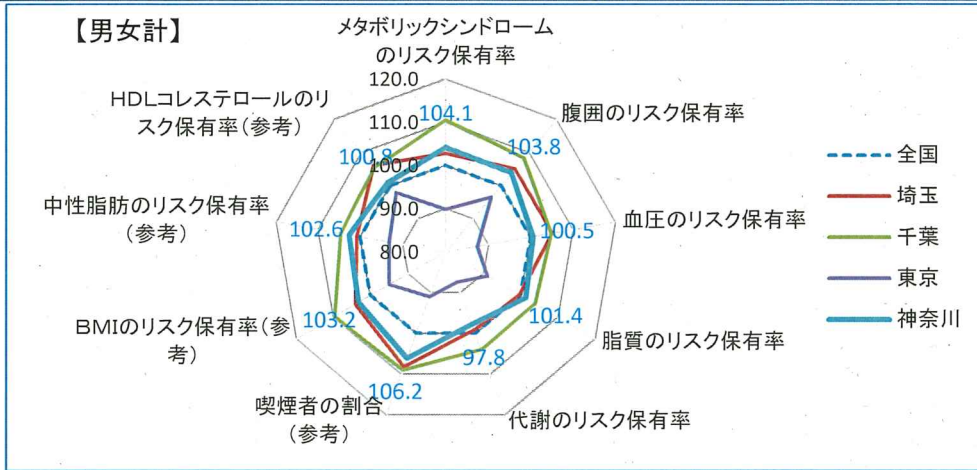


神奈川の「⑩呼吸器系の疾患」入院外医療費が全国を上回る主因は、「1006アレルギー性鼻炎」と「1011喘息」

神奈川の「⑭腎尿路生殖器系の疾患」入院外医療費が全国を上回る主因は、「1402腎不全」

V. 健診データによる分析((1)各種リスク保有率のレーダーチャート)

- 神奈川支部(男女計)の各種リスク保有率をみると、「喫煙者の割合」など全国を上回る項目が多い。
- 男性の各種リスク保有率は、全般的にほぼ全国並み(BMIのリスクがやや高め)。
- 神奈川支部の女性の各種リスク保有率は、全般的に全国を下回っているが、「喫煙者の割合」は全国を大きく上回っている(全国比115.9、全国ワースト5位)。



	メタボリックシンドロームのリスク保有率	腹囲のリスク保有率	血圧のリスク保有率	脂質のリスク保有率	代謝のリスク保有率	喫煙者の割合(参考)	BMIのリスク保有率(参考)	中性脂肪のリスク保有率(参考)	HDLコレステロールのリスク保有率(参考)
男女計									
全国	15.37%	36.53%	42.38%	27.86%	15.35%	31.97%	31.25%	20.00%	4.85%
埼玉	15.80%	38.35%	44.50%	27.79%	15.21%	34.61%	32.52%	20.17%	5.14%
千葉	16.98%	39.55%	44.43%	28.95%	15.97%	34.87%	34.30%	20.96%	5.11%
東京	13.81%	35.21%	37.05%	25.41%	13.43%	29.11%	29.70%	18.66%	4.74%
神奈川	16.00%	37.91%	42.61%	28.25%	15.01%	33.94%	32.24%	20.52%	4.89%
(全国順位)	15位	12位	30位	20位	35位	12位	18位	16位	21位
男性									
全国	21.48%	49.37%	49.28%	35.00%	19.56%	41.49%	36.69%	26.76%	7.11%
埼玉	21.25%	50.13%	50.37%	33.86%	18.66%	43.11%	37.33%	26.10%	7.30%
千葉	23.37%	52.59%	51.27%	35.99%	20.05%	44.32%	40.12%	27.65%	7.47%
東京	20.66%	50.38%	45.50%	34.31%	18.30%	38.56%	36.51%	26.50%	7.44%
神奈川	21.98%	50.31%	49.69%	35.15%	18.84%	42.36%	37.88%	27.01%	7.03%
(全国順位)	23位	15位	29位	20位	36位	23位	15位	22位	25位
女性									
全国	5.09%	14.92%	30.77%	15.85%	8.25%	15.97%	22.08%	8.64%	1.03%
埼玉	5.63%	16.37%	33.55%	16.46%	8.80%	18.73%	23.56%	9.10%	1.09%
千葉	6.04%	17.22%	32.72%	16.89%	8.97%	18.69%	24.32%	9.50%	1.08%
東京	4.23%	14.00%	25.24%	12.96%	6.62%	15.89%	20.18%	7.71%	0.98%
神奈川	5.05%	15.15%	29.61%	15.58%	7.99%	18.50%	21.88%	8.60%	0.95%
(全国順位)	31位	22位	41位	38位	37位	5位	25位	28位	37位

(注) 全国順位は、値の高い順(ワースト順位)

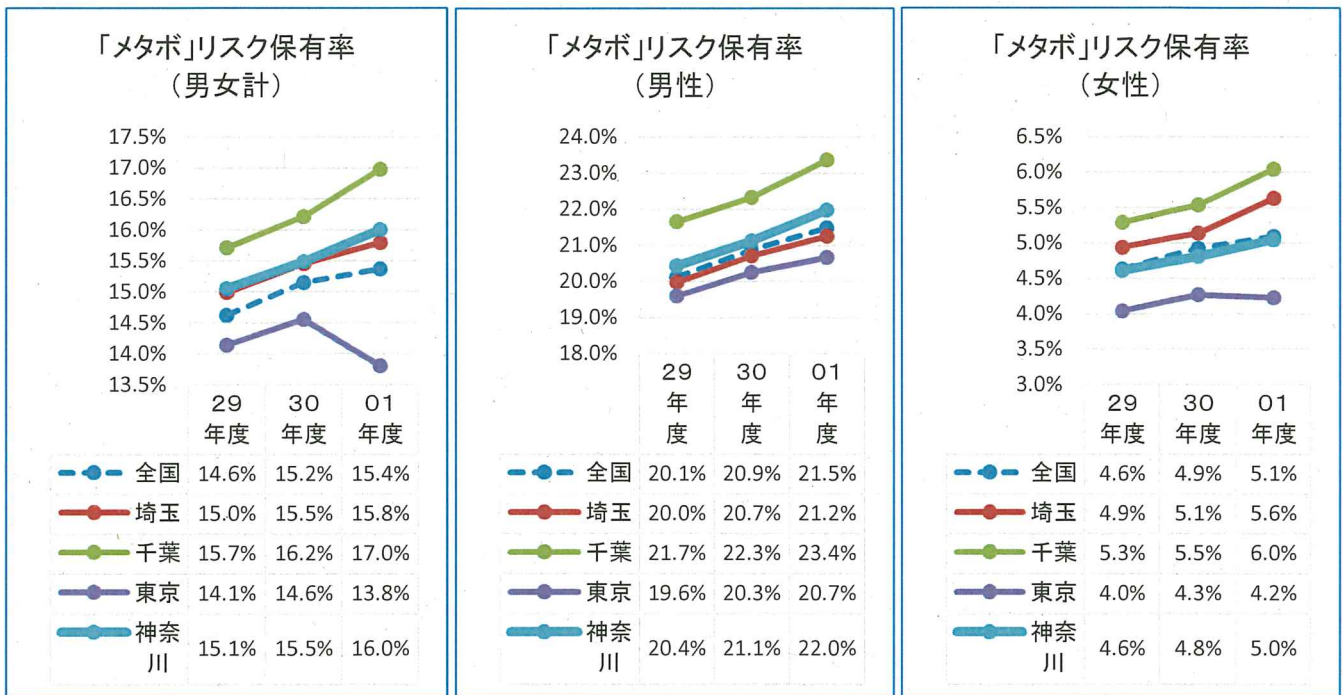
V. 健診データによる分析((2)被保険者の各種リスク保有率①)

①メタボリックシンドロームリスク保有率

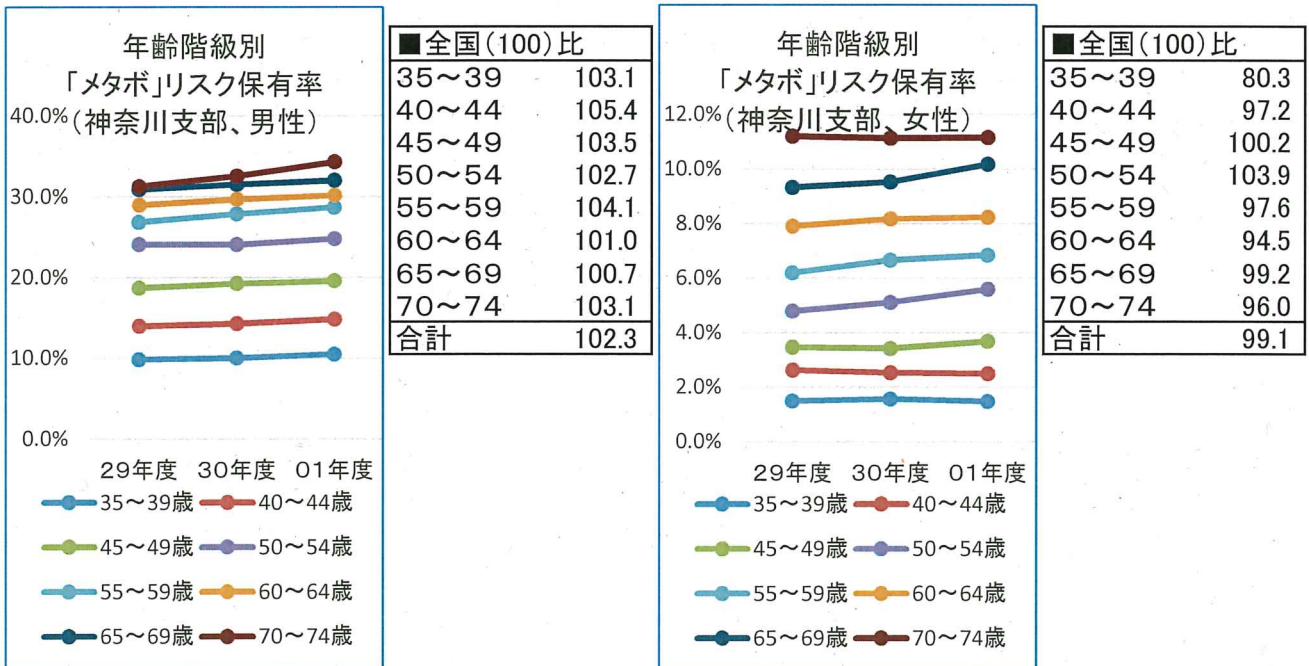
◇メタボリックシンドロームリスク・・・「腹囲リスク(腹囲が、男性は85cm以上、女性は90cm以上)」と「血糖リスク・脂質リスク・血圧リスクのうち2つ以上のリスク」が重複した状態がもたらすリスク

- 神奈川支部の男女計の「メタボ」リスク保有率は、全国平均を上回っているが、その差は拡大傾向。
- 男性の「メタボ」リスク保有率は、全国平均を上回っているが、女性の「メタボ」リスク保有率は、全国平均をわずかに下回っている。
- 年齢階層別にみると、男女とも「50～54歳」以上の階級で、リスク保有率が上昇傾向。

◆メタボリックシンドロームリスク保有率の推移



◆性、年齢階級別の「メタボ」リスク保有率



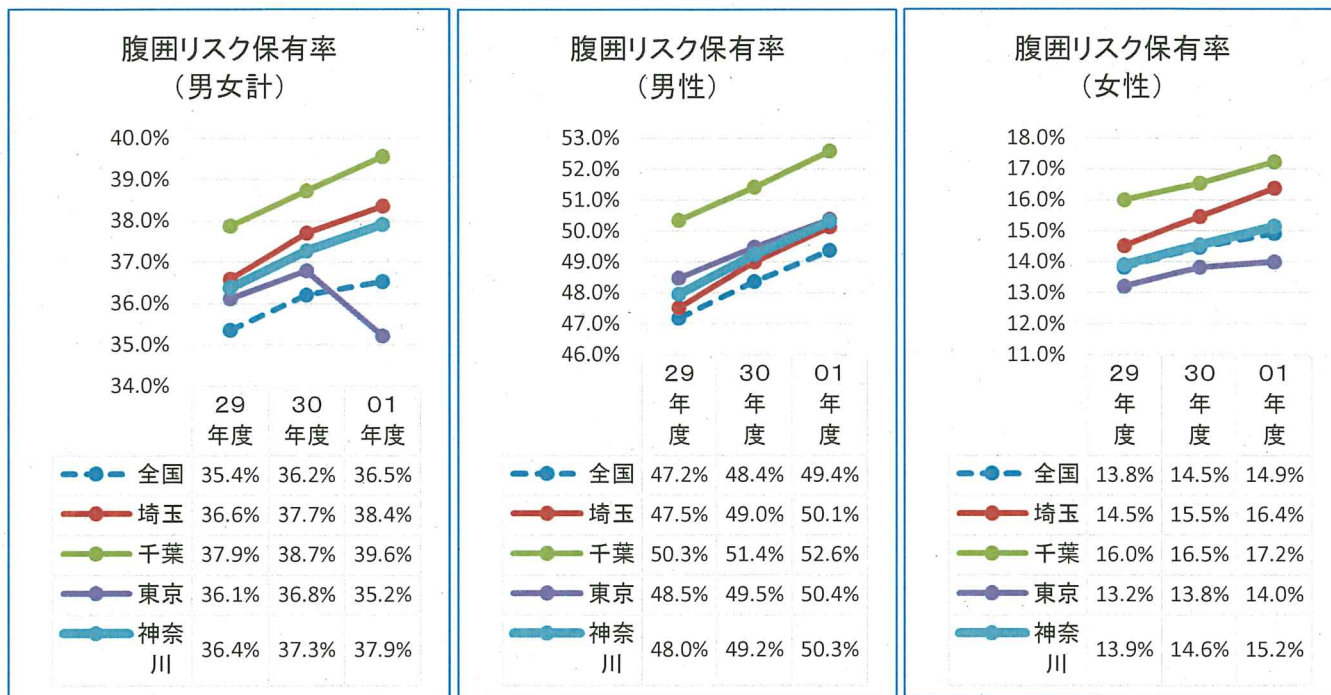
V. 健診データによる分析((2)被保険者の各種リスク保有率②)

②腹囲リスク保有率

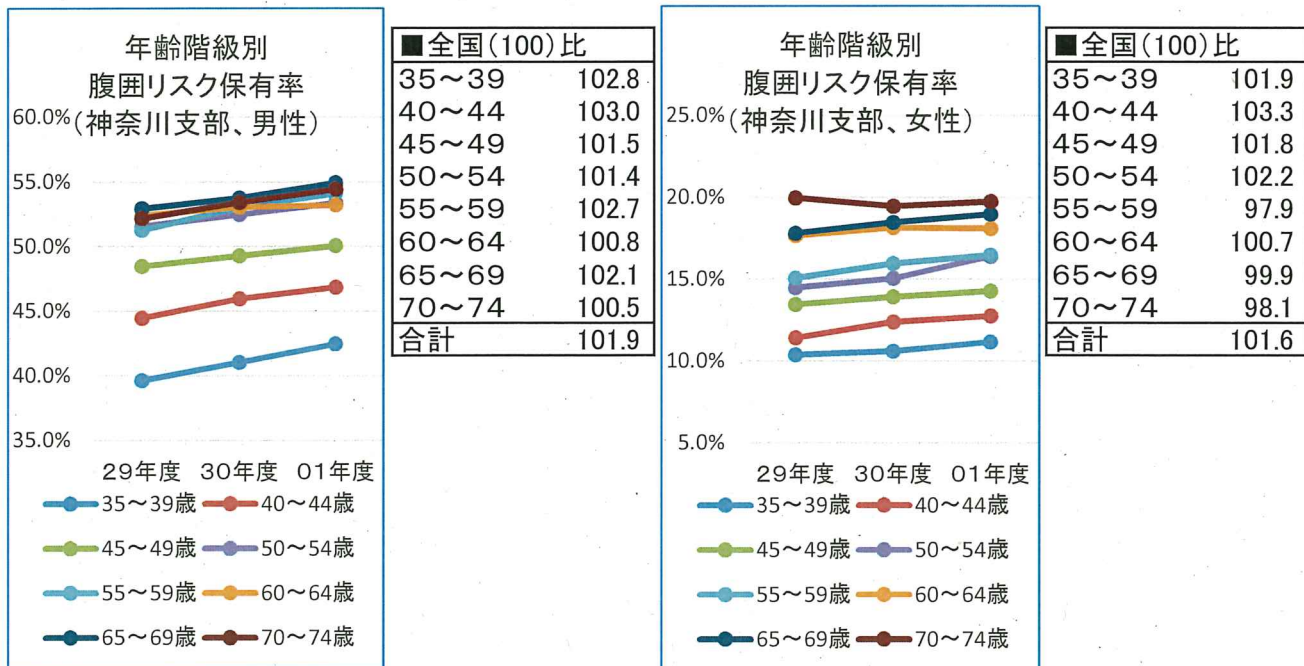
◇腹囲リスク・・・「内臓脂肪面積が100.0cm²以上」または「腹囲が、男性は85cm以上、女性は90cm以上」の状態がもたらすリスク

- 神奈川支部の男女計の腹囲リスク保有率をみると、全国平均を約1%ポイント上回って推移している。
- 男性の腹囲リスク保有率は、全国平均を0.7~0.8%ポイント上回って推移。年齢階級別では、「60~69歳」の腹囲リスク保有率がもっとも高い。
- 神奈川支部の女性の腹囲リスク保有率は、わずかながら全国平均を上回って推移している。

◆腹囲リスク保有率の推移



◆性、年齢階級別の腹囲リスク保有率



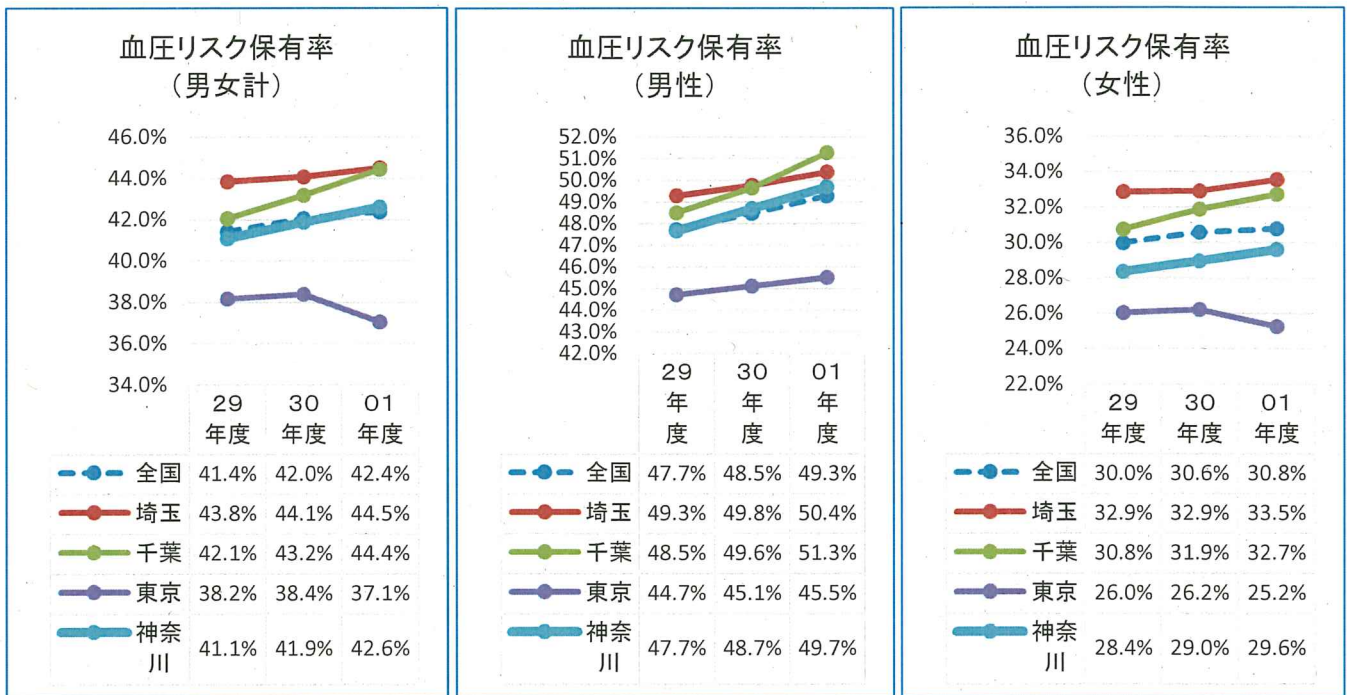
V. 健診データによる分析((2)被保険者の各種リスク保有率③)

③ 血圧リスク保有率

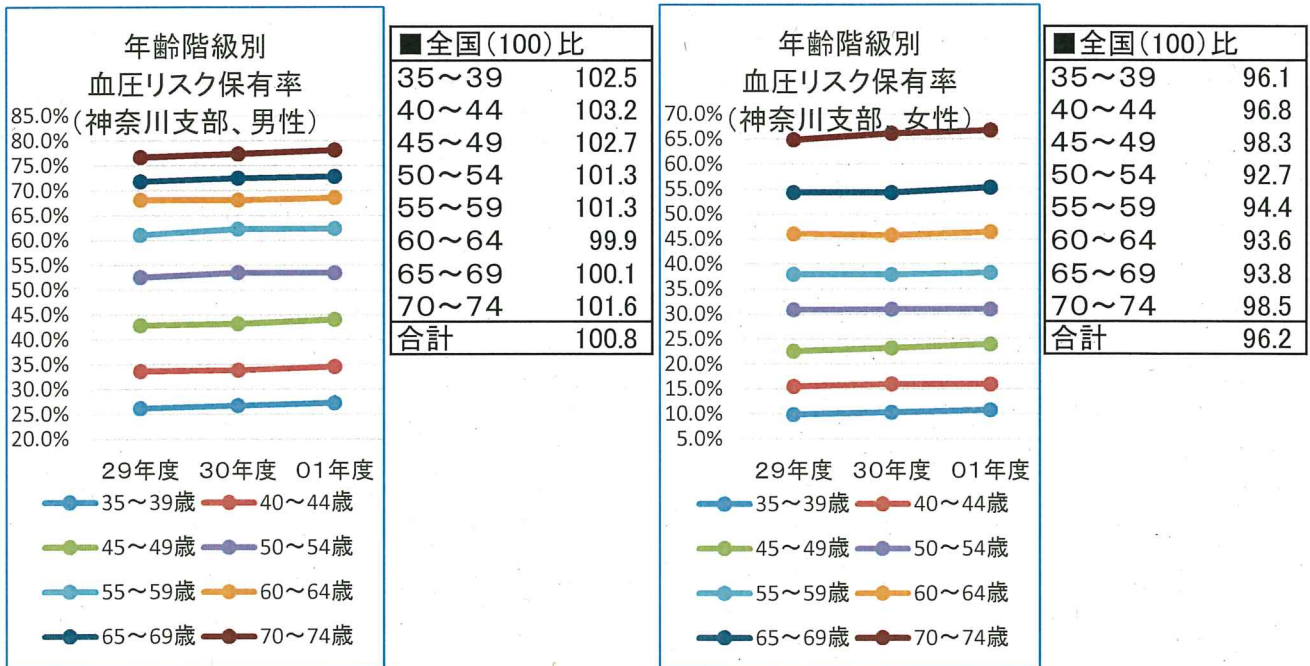
◇血圧リスク・・・「血圧が収縮期130mmHg以上または拡張期85mmHg以上、または服薬あり」の状態がもたらすリスク

■神奈川支部の男性の血圧リスク保有率は、全国平均をわずかながら上回って、女性の血圧リスク保有率は、全国平均を下回って推移している。
 ■年齢階級別にみた血圧リスク保有率はほぼ横ばいで推移。全体のリスク保有率が上昇している要因は年齢階級構成比の変化が一因であると考えられる。

◆ 血圧リスク保有率の推移



◆ 性、年齢階級別の血圧リスク保有率



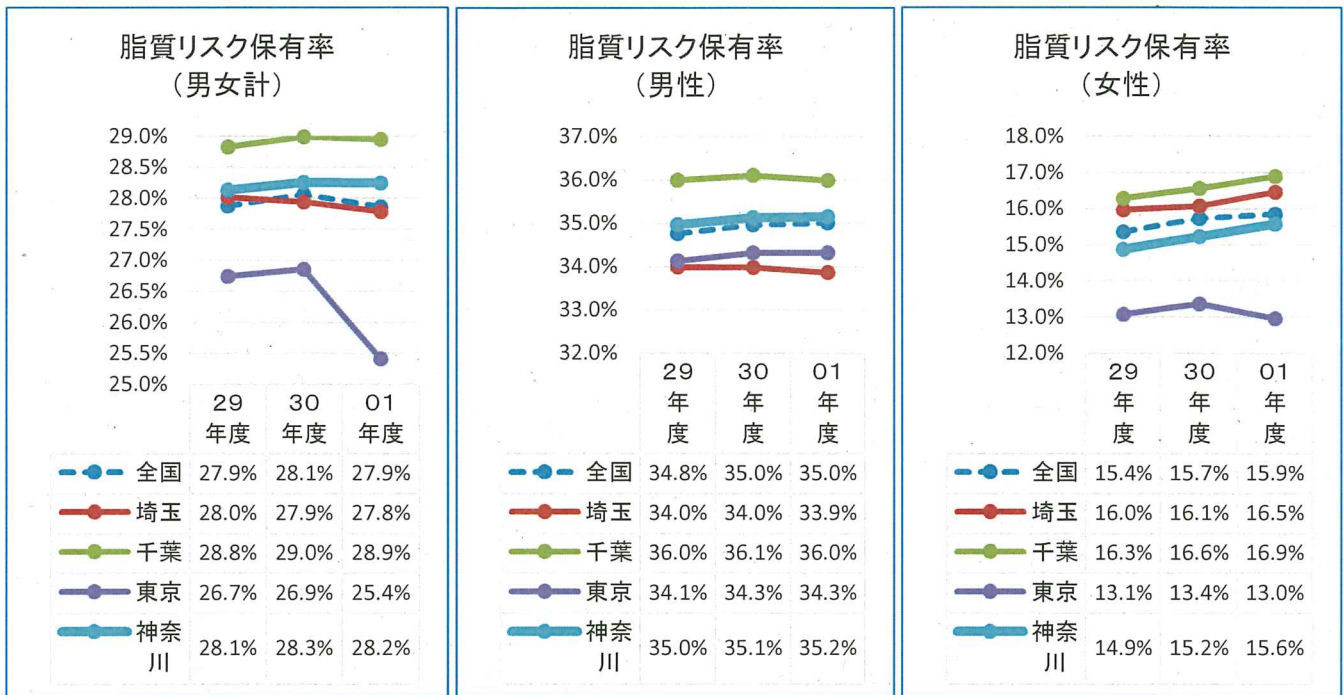
V. 健診データによる分析((2)被保険者の各種リスク保有率④)

④脂質リスク保有率

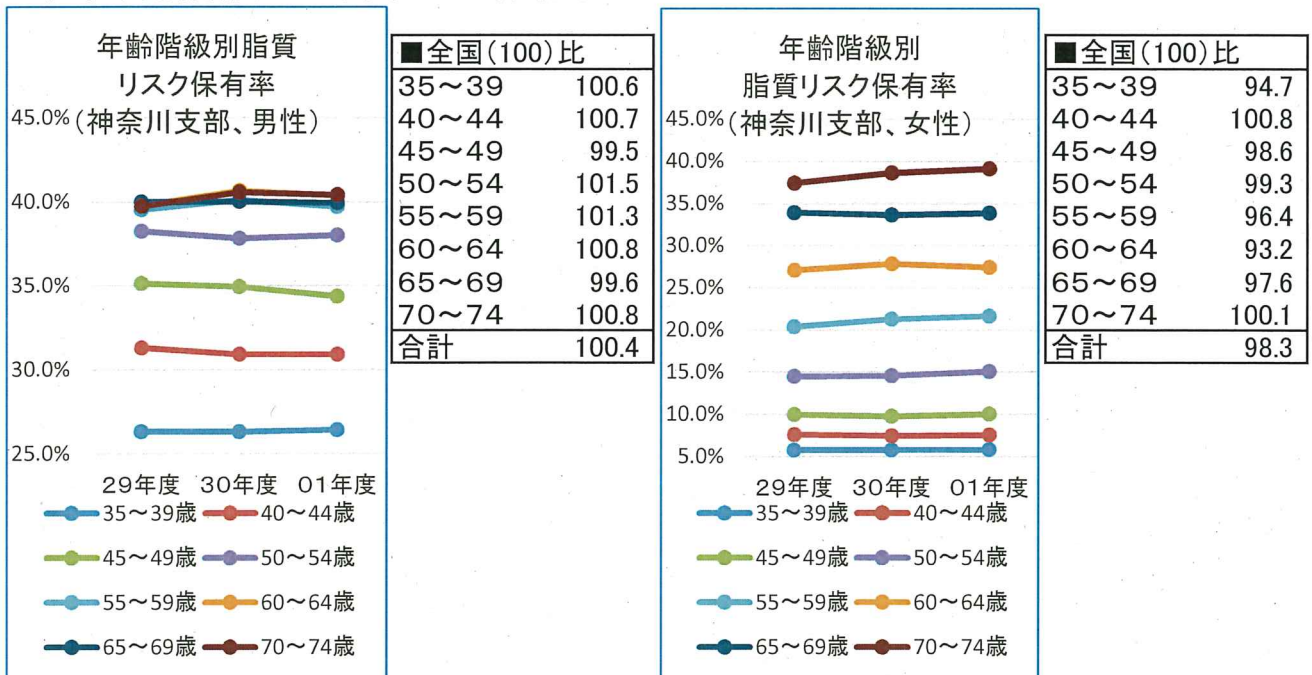
◇脂質リスク・・・「中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または服薬あり」の状態がもたらすリスク

- 神奈川支部の男女計の脂質リスク保有率は、全国平均を0.2～0.3%ポイント上回って推移している。
- 男性の脂質リスク保有率は、全国平均を0.1～0.2%ポイント上回って推移。
- 女性の脂質リスク保有率は、国平均を0.5%ポイント下回って推移していたが、令和01年度はその差が0.3ポイントに縮小。

◆脂質リスク保有率の推移



◆性、年齢階級別の脂質リスク保有率



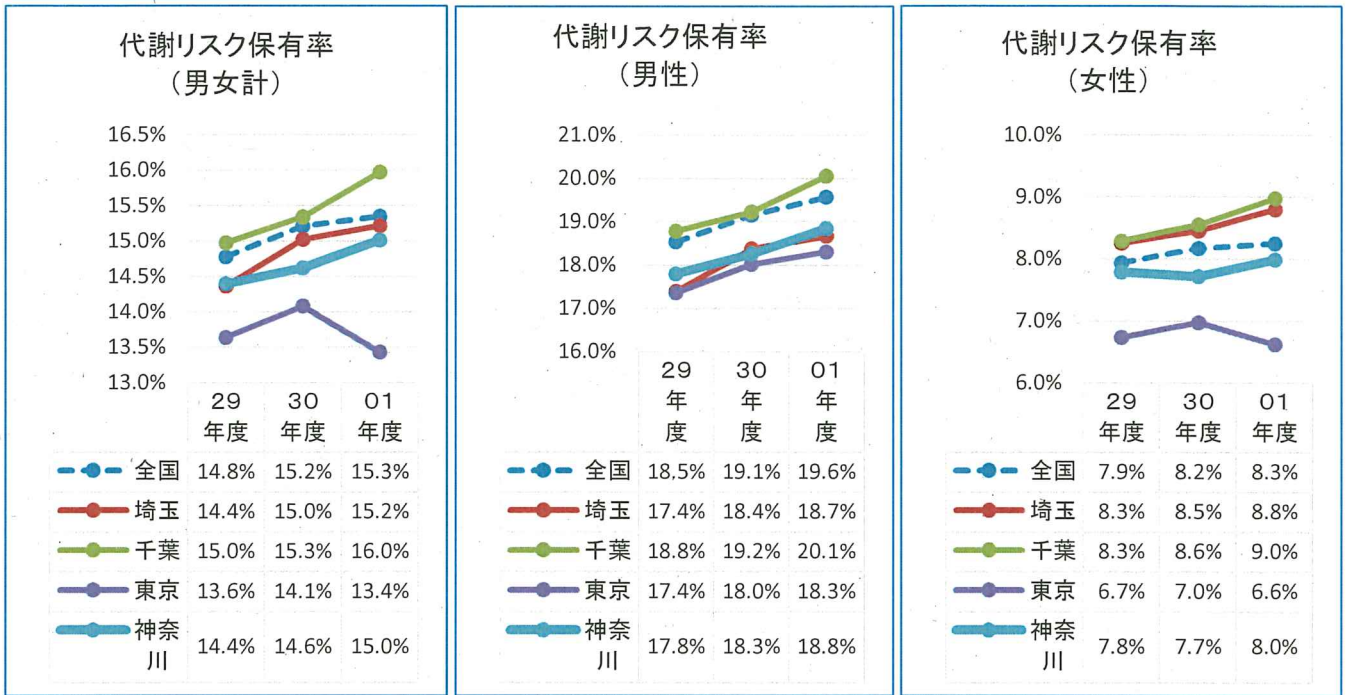
V. 健診データによる分析((2)被保険者の各種リスク保有率⑤)

⑤代謝リスク保有率

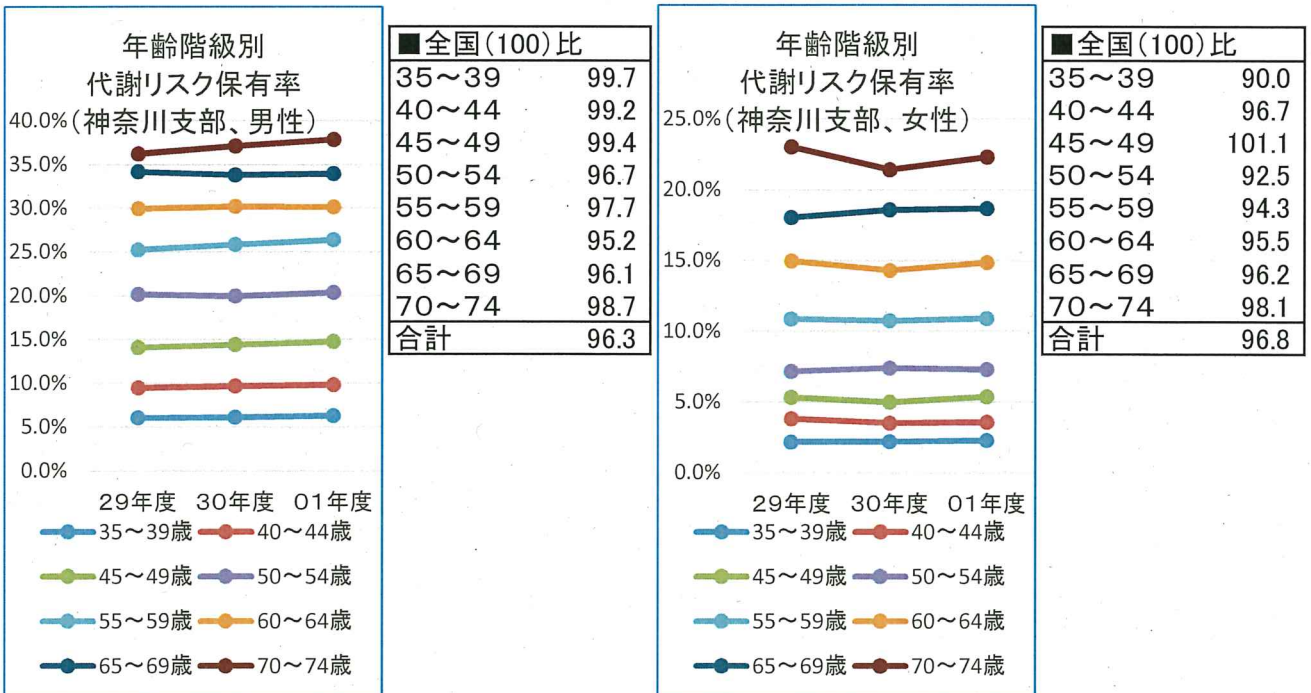
◇代謝リスク・・・血糖リスクともいう。「空腹時血糖110mg/dl以上またはHbA1c6.0%以上、または服薬あり」の状態がもたらすリスク

- 神奈川支部の男女計の代謝リスク保有率は、全国平均を0.4～0.6%ポイント下回って推移している。
- 男性の代謝リスク保有率は、全国平均を0.7～0.8%ポイント下回って推移。
- 女性の代謝リスク保有率は、全国平均を0.2～0.5%ポイント下回って推移。
- 男女ともほぼすべての年齢階級で全国を下回っている。

◆代謝リスク保有率の推移



◆性、年齢階級別の代謝リスク保有率

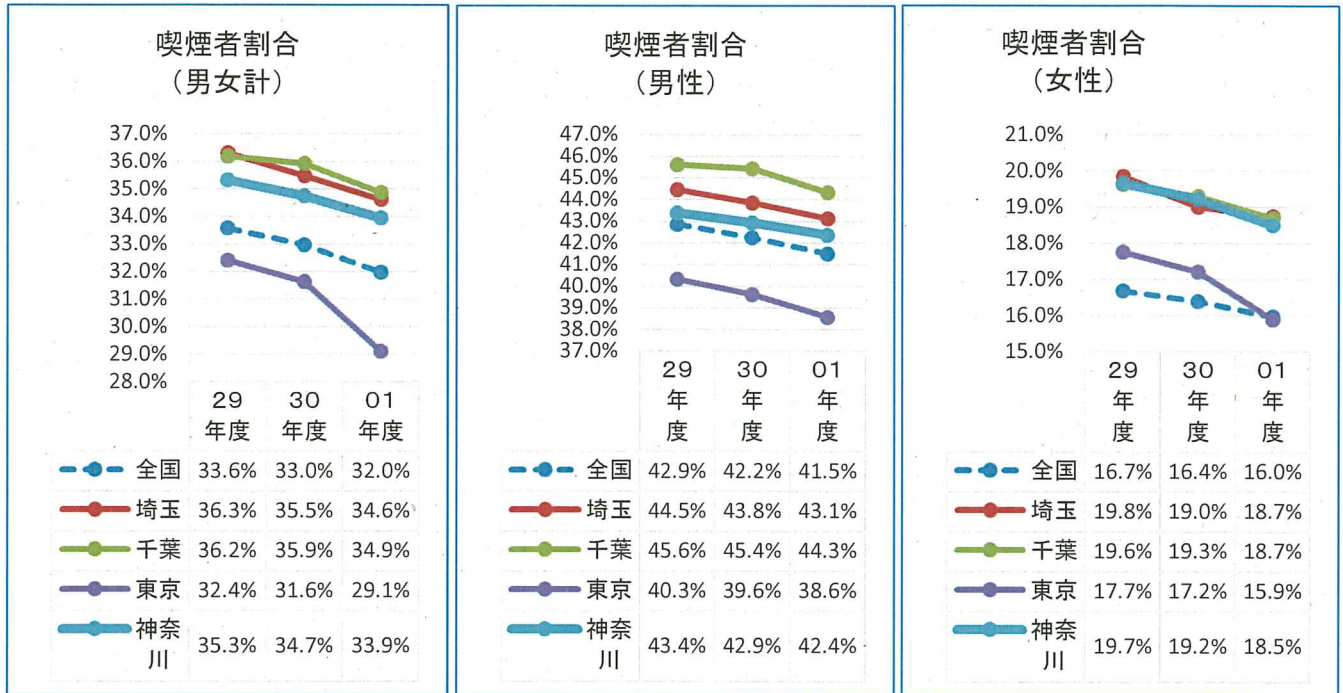


V. 健診データによる分析((2)被保険者の各種リスク保有率⑥)

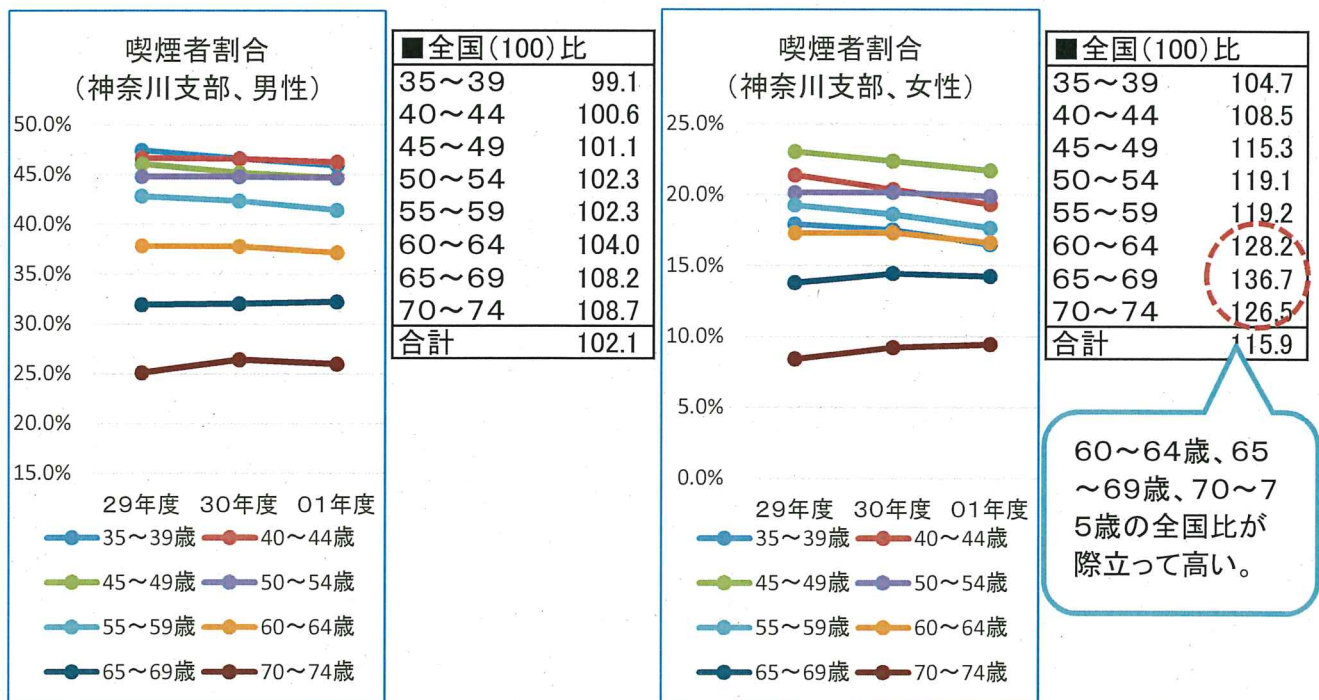
⑥喫煙者の割合

■ 神奈川支部の男女計の喫煙者割合は、低下傾向にあるものの、全国平均を大きく上回っている。
 ■ 男性の喫煙者割合は、全国平均を0.5~0.7%ポイント上回って推移(差は拡大傾向)。
 ■ 女性の喫煙者割合は、全国平均を約3%ポイント上回って推移している(差は縮小)。ワースト5位。年齢階級別では、60~64歳、65~69歳、70~74歳の全国比の高さが際立っている。

◆喫煙者割合の推移



◆性、年齢階級別の喫煙者割合

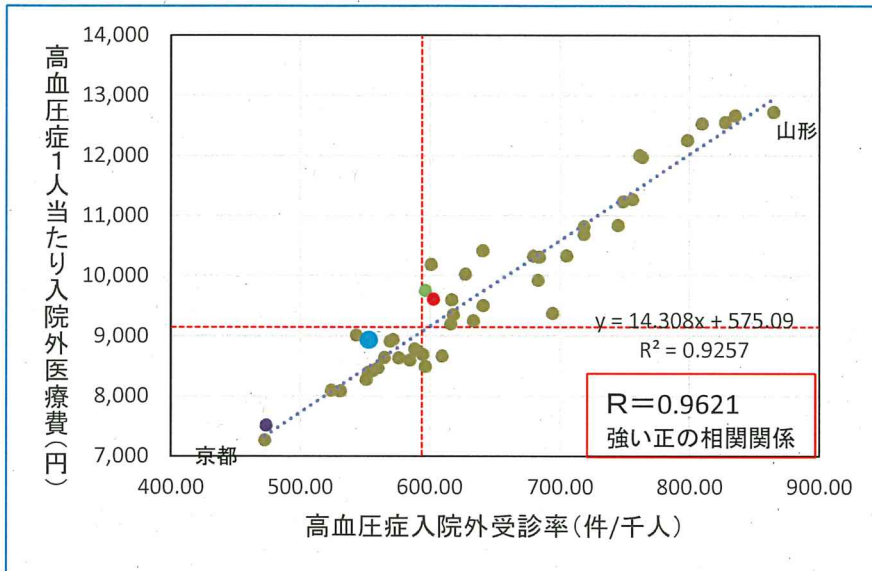


VI. 医療費と健診データの関連①

① 高血圧症と血圧リスク保有率の関係

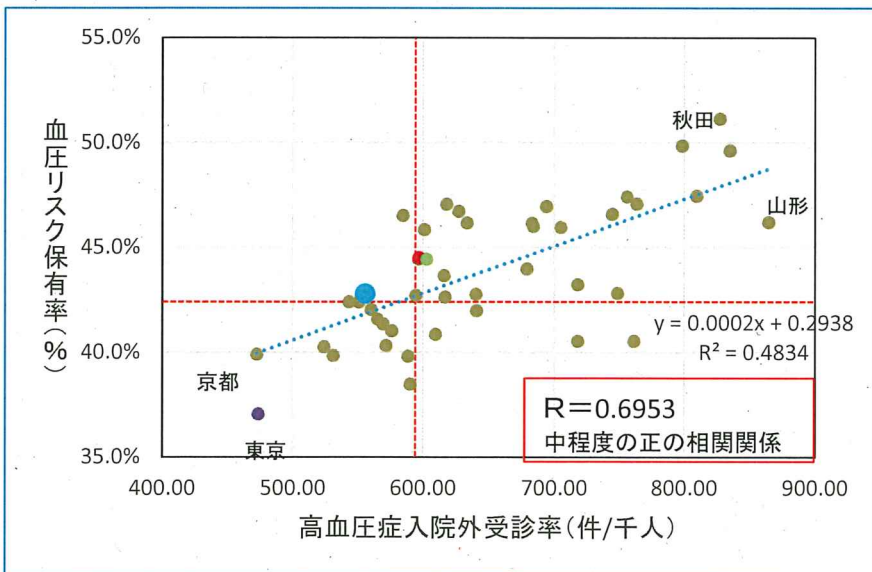
◆ 高血圧症の1人当たり入院外医療費と受診率、都道府県支部別の状況

■ 加入者の高血圧症の入院外受診率が高い支部ほど、高血圧症の1人当たり入院外医療費が高い(相関係数=0.9621)。神奈川県は高血圧症の受診率対比の1人当たり入院外医療費が高い。



◆ 高血圧症入院外受診率と血圧リスク保有率、都道府県支部別の状況

■ 血圧リスク保有率と高血圧症入院外受診率の相関係数は0.6953であり、中程度の相関関係が認められる。

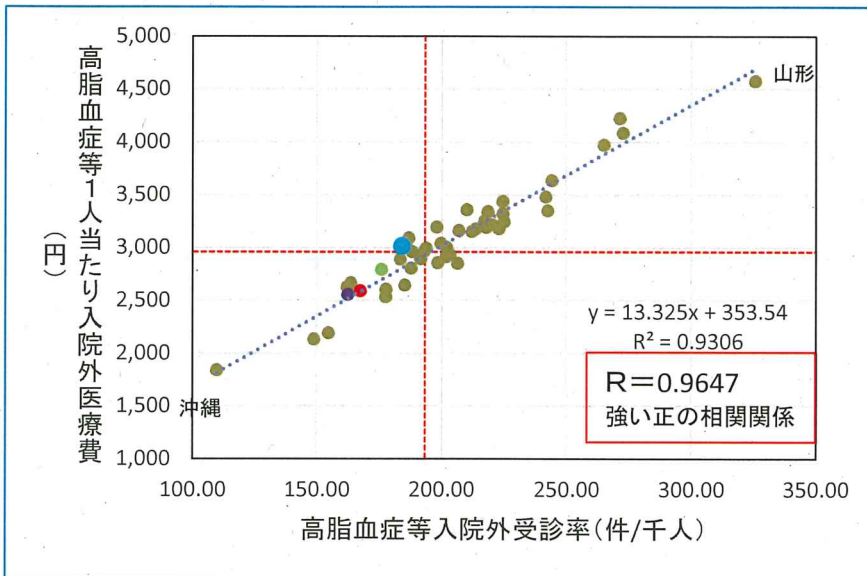


VI. 医療費と健診データの関連②

②高脂血症等と脂質リスク保有率の関係

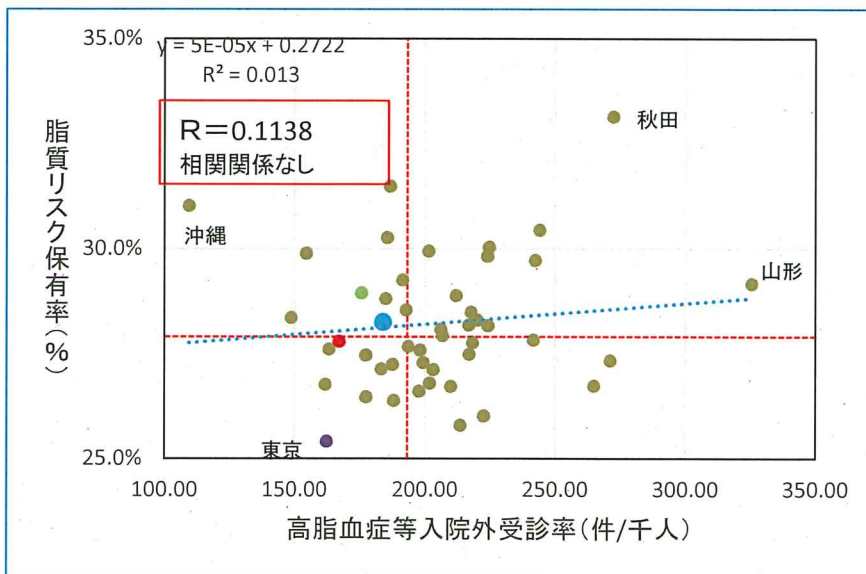
◆高脂血症等の1人当たり入院外医療費と受診率、都道府県支部別の状況

■加入者の高脂血症等の入院外受診率が高い支部ほど、高脂血症等の1人当たり入院外医療費が高い(相関係数=0.9647)。神奈川県は高脂血症等の受診率対比の1人当たり入院外医療費が高い。



◆高脂血症の1人当たり入院外医療費と受診率、都道府県支部別の状況

■脂質リスク保有率と高脂血症等入院外受診率の相関係数は0.1138であり、相関関係は認められない。

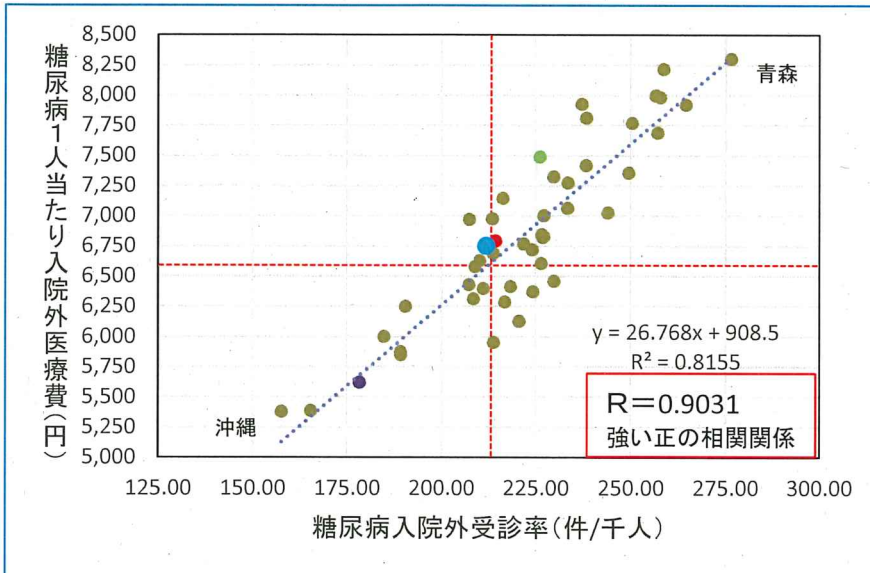


VI. 医療費と健診データの関連③

③糖尿病と代謝リスク保有率の関係

◆糖尿病の1人当たり入院外医療費と受診率、都道府県支部別の状況

■加入者の糖尿病の入院外受診率が高い支部ほど、糖尿病の1人当たり入院外医療費が高い(相関係数=0.9031)。神奈川県は糖尿病の受診率対比の1人当たり入院外医療費が高い。



◆高脂血症の1人当たり入院外医療費と受診率、都道府県支部別の状況

■代謝リスク保有率と糖尿病入院外受診率の相関係数は0.6162であり、中程度の相関関係が認められる。

